

(3) JICA 現地語教科書作成費による教科書作成実績 (1987年度)

No	分野	題名	担当	頁数	部数	作成様式
1	番組編成	*注 (イ) UNDANG-UNDANG SIARAN (英) THE BROADCASTING LAW	長谷川	54	100	印刷・製本
2	報道制作	(イ) ENG・IDEAL UNTUK MELIPUT BERITA TELEVISI -PENGETAHUAN DASAR TENTANG PERALATANNYA- (英) ENG・IDEAL FOR REPORTING OF TELEVISION NEWS -BASIC KNOWLEDGE ABOUT EQUIPMENT-	福岡	107	100	印刷・製本
3	〃	(イ) PRODUKSI BERITA TELEVISI PADA ZAMAN ENG -PETUNJUK PRAKTIS DALAM PRODUKSI BERITA- (英) TV NEWS PRODUCTION IN ENG ERA -PRACTICAL GUIDE FOR NEWS GATHERING AND POSTPRODUCTION-	〃	56	100	印刷・製本
4	運行技術	(イ) DAFTAR ISTILAH SIARAN (英) BROADCASTING GLOSSARY	加藤	333	50	印刷・製本

*注 題名欄中 (イ) はインドネシア語の題名を、(英) は英語の題名を表わす。

4-6 供与機材の活用及び維持管理状況

本センターには、無償資金協力により約9億円の機材が供与されている他、プロジェクト方式技術協力により約3億円の補足的機材が供与されている。

これらの機材は、全般的によく活用されている。機材の維持管理状況もほぼ良好であるが、今後の課題として、保守体制、予防保全の意識の徹底があげられる。訓練生の多くは、機材が故障しても、自ら補修する意識が薄く、その技術も身につけていない。機材の修理は専門家に頼っている状況である。

今後、「保守要領」をまとめたテキスト作成、予防保全をテーマにした講義の充実等によって、訓練生及びカウンターパートの機材維持・管理に関する意識改革を一層図る必要がある。

「供与機材活用・管理状況」及び「供与機材故障・修理状況」の表を以下に示す。

無償資金協力供与機材活用・管理状況(1)

1989.3 現在

機材名	数量	活用	管理	機材名	数量	活用	管理
I テレビ・スタジオ設備				F 同期信号装置			
A スタジオ副機盤設備				1 同期パルス発生器 (251D)	1S	A	A
1 カラーカメラ (MC-37)	3	A	A	2 同期パルス分配器	1S	A	A
2 映像調整装置 (TAKS-2000)	1S	A	A	3 キャビネットラック	1S	A	A
3 音声調整装置 (16SXH-42A)	1S	A	A				
4 モニター装置	1S	A	A	G ENG機器			
5 照明装置	1S	A	A	1 8インチカラーカメラ (MNC-82B)	1S	A	A
6 スタジオ「使用中」表示	3	A	A	2 8インチVCR (BVU-110P)	1S	A	A
7 スタジオインターカム (OK6681A)	1S	A	A	3 8インチ照明機器 (LB-5)	1S	A	A
B コンティニューイティースタジオ設備				H 16mm編集機器/16mmビデオカメラ			
1 8インチカラーカメラ(MNC-82B)	1S	A	A	1 16mmアウトフィティングテーブル	1S	B	A
2 文字発生装置	1S	A	A	2 16mmインポートエディティングユニット	1S	B	A
3 映像調整装置	1S	A	A	3 編集機器	1S	B	A
4 音声調整装置 (125XH-42A)	1S	A	A	4 16mmビデオカメラ (16MS)	1S	B	A
5 モニター機器	1S	A	A	5 16mmフィルム映写機 (SC-10)	1S	B	A
6 映像安定化増幅器 (TAP-180C)	1S	A	A				
7 照明装置	1S	A	A	I フィルム現像設備			
8 スタジオ「使用中」表示	2S	A	A	1 16mmビデオフィルム現像機 (EXPER II-30)	1S	C	A
9 スタジオインターカム (OK6682A)	1S	A	A	2 分析装置	1S	C	A
10 オデイトラック(カートリッジテープ用)	1	A	A	3 給湯装置	1	C	A
				4 現像剤	1S	C	A
C テレビ主調整設備				5 その他	1S	C	A
1 映像/音声スイッチング装置	1S	A	A				
2 モニター装置	1S	A	A	J その他の機器及び機材			
3 椅子	2	A	A	1 ビデオテープ	1S	A	A
				2 16mm磁気フィルム	10	B	B
D VTR装置				3 オーディオテープ	10	A	A
1 1インチVTR (BVH2000PS-02)	2	A	A	4 付属品 (EXTENDER, カットアウト等)	1S	A	A
2 3/4インチVTR (BVU-800P)	2	A	A	5 ウォークトーカー (ICB-870T)	1S	A	A
3 映像/音声スイッチング装置	1S	A	A	6 テープレイザー	1S	A	A
4 モニター装置	1S	A	A				
E テレシネ/FSS装置							
1 カラーテレシネ装置	1S	B	A				
2 16mm磁気フィルム録音再生器(DSL30)	1S	B	A				
3 映像/音声スイッチング装置	1S	B	A				
4 モニター装置	1S	A	A				
5 カラーFSS (TGK203 ICS-100)	1S	A	A				

S: SET A: 優 B: 良 C: 可

無償資金協力供与機材活用・管理状況(2)

機材名	数量	活用	管理	機材名	数量	活用	管理
II ラジオ・スタジオ設備				D ラジオ主調整設備			
A スタジオ副調整設備				1 音声分記増幅器	6	A	A
1 音声調整装置 (16SX1-428)	1S	A	A	2 音声スイッチング装置 (O:6579A)	1	A	A
2 録音・再生装置 (DN-330IRGE)	2	A	A	3 音声制限増幅器 (AL45202)	1	A	A
3 円盤再生装置 (DN-308F-E)	2S	A	A	4 キャビネットラック (D07143A)	1	A	A
4 マイク (ダイミカ、コデン)	8	A	A	5 主調整卓	1	A	A
5 マイクロホンスタンド	6	A	A	6 モニター用スピーカー (2S-305)	2	A	A
6 モニタースピーカー (2S-305)	4	A	A	7 椅子 (K-110A)	1	A	A
7 発音ユニット (REVAC6A)	1	A	A				
8 ラジオ「使用中」表示	2	A	A	E ラジオ中継車			
9 椅子 (K-110A)	1	A	A	1 無線中継装置	1S	A	A
10 ヘッドホン (DR-531A)	1	A	A	2 局外中継装置	1S	A	A
11 ラック (社外テーブル用)	1	A	A				
12 マイクロホン延長用コード	3	A	A	III 送信機			
				A 1kW 中波放送機 (RH-41GS)			
B コミュニティスタジオ設備				1 1kW 全固体中波ラジオ放送機	1S	A	A
1 音声調整装置 (125X1-42B)	1S	A	A	2 2kW ダミーロード	1	A	A
2 録音・再生装置 (DN-330IRGE)	2S	A	A	3 番組入力装置 (PIE)	1S	A	A
3 社外 テープレコーダー (ER-810)	1S	A	A				
4 円盤再生装置 (DN-308F-E)	2S	A	A	B 100W VHFテレビ放送機			
5 モニター用スピーカー (2S-305)	2S	A	A	1 100W VHFテレビ放送機(TBV-1220SH)	1S	A	A
6 ダイミカ マイクロホン (F-770)	1	A	A	2 出力同軸装置	1S	A	A
7 卓上マイクスタンド (KS-10)	1	A	A	3 入出力監視装置	1S	A	A
8 椅子 (K-110A)	1	A	A	4 付属品	1S	A	A
9 ラジオ「使用中」表示	2	A	A				
10 ヘッドホン (DR-531A)	1	A	A	C テレビ中継放送機			
11 アンプ用操作ボックス (OK6305A)	1	A	A	1 50W UHF テレビ中継放送機(SVU25G1D)	1S	A	A
12 アンプ用テーブル (OK6304)	1	A	A	2 ダミーロード (75V)	1	A	A
13 アンプ用椅子	1	A	A	3 付属品	1S	A	A
14 社外テーブル用ラック	1	A	A				
15 マイク用延長コード	1	A	A	IV 測定機器			
				1 テレビ試験信号発生器 (TG-58)	2S	A	A
C テープ編集機器				2 シフトレバ発生器 (HG-442A)	1S	A	A
1 編集用テープレコーダー (DN-83PK)	4S	A	A	3 標準信号発生器 (HG523B)	1S	A	A
2 テープレコーダー付属品	1S	A	A	4 テレビIF信号発生器 (HSG26515)	1S	A	B
3 編集作業テーブル	4	A	A	5 VHF 掃引発振器 (4470E)	1S	A	A
4 椅子	4	A	A	6 歪率計/発振器 (796F)	1S	A	A
				7 周波数カウンター (KF-63A)	1S	A	A
				8 スペクトラムアナライザー (HS62A)	1S	A	A

無償資金協力供与機材活用・管理状況 (3)

機 材 名	数 量	活 用	管 理	機 材 名	数 量	活 用	管 理
9 物距コーブ (SS5416A, SS5711 各2)	4S	A	A	48 テストチャート	2S	A	A
10 エパノブ物距コーブ (2320)	1S	A	A	49 テストフィルム SUPTE	1S	C	A
11 ベクトルスコーブ (R521A)	1S	A	A	50 テストフィルム	1S	C	A
12 AM 計測バンドグラフ (2610)	1S	A	A	51 テストスライド	1S	C	A
13 欠 番				52 プリント基板作成用簡易キット	1S	A	A
14 エパノブテレビ測定器 (201/2)	1S	A	A				
15 DG/DP測定器 (948A)	1S	A	A	V 電源設備			
16 カラーノイズメーター (925D/2)	1S	B	A	1 100kVA IVR盤	1S	A	A
17 ネットワークグラフ (8754A)	1S	B	A	2 受電盤	1S	A	A
18 電界強度測定器 (ML-518A)	1	B	A	3 変圧器盤 (175kVA)	1S	A	A
19 初任バランスレック (898B)	1	B	B	4 配電盤	1S	A	A
20 照度計 (T-1)	1	A	A				
21 カラーメーター	1	B	A	VI 技術連絡装置及び館内時計装置			
22 透視形パターン台 (NPL-3)	1S	A	A	A 技術連絡装置			
23 ネットワークメーター (MK-667D)	1S	B	A	1 操作ボックス (10チャンネル, MIC SP付)	10	A	A
24 変調モニター (AM-90)	1S	A	A	2 接続板 (操作ボックス用)	1S	A	A
25 欠 番				3 電源供給盤	1S	A	A
26 モニター用テレビ受像機 (CVH-1370QE)	3	A	B				
27 可変抵抗器 (AL255, M215C, AL502B)	7	B	A	B 館内時計装置			
28 欠 番				1 クォーツ 親時計装置 (QC-88-B)	1S	A	A
29 欠 番				2 子時計 (1秒, 3-1573)	11	A	A
30 ビデオ用ローパスフィルター	1S	A	A	3 子時計 (30秒, SC-301)	14	A	A
31 ビデオ用ハイパスフィルター	1S	A	A				
32 モニター用CCIR規格インクネットワーク	1S	A	A	VII 見学及び会議室			
33 パラメーター (25/75W, 50/150W)	2	A	A	A 見学室用機器			
34 LCRメーター (AG-4301)	1	A	A	1 20" カラー映像モニター (TPHC-511A)	1	A	A
35 空中線定数測定器 (MZ-810)	1	C	A	2 12" 映像モニター (TPH-310B)	12	A	A
36 トランジスター試験機 (TCH-12)	1	A	A	3 モニター用スピーカー (10 HP-1)	2S	A	A
37 テスター (3201)	10	A	A	4 モニター架	1	A	A
38 電子式電圧計 (ML69A)	2S	B	A				
39 直流電圧/電流計 (2051-03~06)	4	A	A	B 会議室用機器			
40 交流電圧/電流計 (2052, 2053)	4	A	A	1 22" カラーテレビ (CVH-2250E)	1	B	B
41 クリップACワットメーター (2433)	1	A	A	2 モニター用スピーカー (10 HP-1)	1	B	B
42 絶縁抵抗計 (3213-24 1000MΩ)	1S	B	A	3 スピーカー台	1	B	B
43 アーステスター (3235)	1S	B	A	4 モニターテレビ台	1	B	B
44 ミリオームメーター (VP-2941A)	1S	B	A				
45 温度計	1S	C	A	VIII 空調設備			
46 直流電源 (GP050-2)	2S	A	A	1 空調設備 (PW-60)	3S	A	A
47 工具 (S-10)	5S	A	A				

技術協力 1984年度供与機材活用・管理状況

1989.3. 現在

機材名	数量	活用	管理	機材名	数量	活用	管理
1 共用事務機材							
(1) コピーマシン (FT-4060)	2	A	A				
(2) タイプライター (EX-43N)	5	A	A				
(3) 電卓 (SL-1000, FX-950)	8	A	B				
(4) 月予定表板 (900 × 1800mm)	4	A	A				
(5) パーソルコンピュータ (PC-8801 MK)	3	A	A				
(6) 英文ワープロ (PC8801 用)	3	A	A				
(7) プロッター (HP-1000-31)	2	B	A				
2 車両							
(1) 自動車 (パトロール用)	2	A	A				
3 測定機器							
(1) 電界強度測定器 (H262E)	1	A	A				
(2) ベクトルアナライザ (4193A)	1	B	A				
(3) 高電圧高帯域プローブ (P6015)	2	B	A				
(4) 周波数変換器 (HH650A)	1						
(5) 階段波ユニット (TG-5E/2用)	2	A	A				
(6) 低周波特性測定器 (DPA-221A)	3	A	A				
(7) オシロスコープ (CS-1022)	10	A	A				
4 番組制作機材							
(1) ベータレコーダ (B4C-100)	1	A	A				
(2) ベータ-VTR (SL-F3)	1	A	A				
(3) カラーモニター (KX-1211HG)	1	A	A				
(4) ビデオカメラ (L-500UHG)	20	A	A				
(5) 充電器 (AC-M100)	1	A	A				
(6) 予備バッテリー (NP-11)	1	A	A				
(7) スピーカー (SS-X1A)	1	A	A				
(8) オーディオケーブル (RK-C74)	1	A	A				
(9) 各種部品、コード、工具	1	A	A				

A: 優 B: 良 C: 可

技術協力 1985年度供与機材活用・管理状況 (1)

1989.3 現在

機 材 名	数 量	活 用	管 理	機 材 名	数 量	活 用	管 理
1 番組制作用機材				(3) オーディオ機器	1	A	A
(1) VHS-VTR (UR-7600MS)	1	A	A	(4) モニター機器	1	A	A
(2) ベターマックス (SL-T50ME)	2	A	A	(5) VTR装置 (3/4" U-リフレック)	1	A	A
(3) UリフレックVTR (BVU-800 NTSC)	1	A	A	(6) 通信機器	1	A	A
(4) UリフレックVTR (BVU-800P PAL)	1	A	A	(7) マイク送受信機器 (TVL-113G)	1	A	A
(5) カラービデオモニター (PVW2010QM)	5	A	A	(8) 車両	1	A	A
(6) 音声モニター (マイク 2055)	3	A	A	(9) 消耗部品、修理用品	1	A	A
2 共用事務機材				7 教室用機材			
(1) ホワイトボード(900×1800mm)	5	A	A	(1) ホワイトボード	5	A	A
(2) OHP (HP2450)	5	A	A	(2) OHP	5	A	A
(3) 35mmスライドプロジェクター	1	A	A	(3) 35mmスライドプロジェクター	1	A	A
(4) 電卓 (fx-961)	26	A	A	(4) VHS・VTR (NTSC, PAL, SECAM)	3	A	A
				(5) β・VTR (NTSC, PAL, SECAM)	2	A	A
3 写真機材				(6) Uリフレック・VTR (BVU-800P)	1	A	A
(1) 35mmカメラ (アサヒフタックス-Q1-A)	2	A	A	(7) 1/2" VHS-VTR カセットテープ (120'用)	50	A	A
(2) ポラロイドカメラ (M-085D)	2	A	A	(8) 1/2" β・VTR カセットテープ (120'用)	50	A	A
(3) 双眼鏡 (7×50 7×35)	2	B	A	(9) Uリフレック・VTR カセットテープ (60'用)	40	A	A
(4) カセットビデオカメラ (TRK-6701W)	5	A	A	(10) カラーモニター(20型TC-AL2100)	7	A	A
(5) 色立体	2	B	B				
(6) 電気冷蔵庫 (R305CH)	2	A	A	8 番組制作用機材			
4 撮影用機材				(1) ボーナール音声テープレコーダー(TC-D5)	5	A	A
(1) カラーカメラ (BVW-3AP, VTR一体型)	1	A	A	(2) 音声テープ編集機 (TCD-5)	5	A	A
(2) ズームレンズ (BVW-3AP用)	1	A	A	(3) 音声用6mmカセットテープ (6" リール)	50	A	A
(3) 電池 (NP-1, NI-CAD)	4	A	A	(4) ベーナール VTR再生機 (BVW-20)	1	A	A
(4) 充電器 (EC-1VA)	2	A	A	9 送信用機材			
(5) 三脚及び曇台	1	A	A	(1) FMマイク送信機 (FBV-11, 1kW)	1	A	A
(6) ビデオカセットテープ (HG-20)	100	A	A	(2) 中波AM送信機 (RM-41JS, 1kW)	1	A	A
5 教育用機材				(3) 中波二重給電装置 (DX-41A)	1	B	A
(1) 教育実習機材 (IIF-01, ~ 05)	15	B	A	(4) UHFアナログ共用装置 (50CU-12)	1	B	A
(2) 回路テスター (JP-8D)	15	A	B	(5) SSB送信機 (NSD-515)	2	C	A
(3) デイブメーター (DMC-230S)	3	B	A	(6) SSB受信機 (NRD-515)	2	A	A
(4) アンテナアナライザー-1 (AZ-1)	3	B	A	(7) リニアアンプ (TL-922)	3	C	A
6 テレビ中継車用機材				10 実習用機材			
(1) カラーテレビカメラ (HNC-100)	2	A	A	(1) マイクロウェーブ実習用セット	3	B	A
(2) ビデオ機器	1	A	A	(2) 波形モニター (1481-C)	3	B	A
				(3) フังก์ショナルレコーダー (FG-270)	15	B	A

技術協力 1985年度供与機材活用・管理状況(2)

機 材 名	数 量	活 用	管 理	機 材 名	数 量	活 用	管 理
(4) 簡易電測器 (KTV-603Ⅱ)	3	B	A				
(5) スーパーレターコト(TG-5E用,PAL)	2	A	A				
(6) オシロスコープ (CS-1022)	5	B	A				
(7) ケプ用コト (PC-8801 mkⅡ用)	3	B	A				
11 音声継用機材、ラジオカー							
(1) 放送継用FM送信機 (5 V)	1	A	A				
(2) 放送継用FM受信機 (159MHZ)	1	A	A				
(3) ラジオカー (EE-1970)	1	A	A				
12 車 輜							
(1) マイク入 (BB20R-MDR, 26 人乗)	1	A	A				

技術協力 1986年度供与機材活用・管理状況

1989.3 現在

機材名	数量	活用	管理	機材名	数量	活用	管理
1 テレビ中継車機材				4 テレビ用アンテナ部品			
(1) カラーテレビカメラ (HNC-100)	2	A	A	(1) アンテナ部品	6	B	A
(2) ビデオ機器	1	A	A	(2) 給電線部品	1	B	A
(3) オーディオ機器	1	A	A	(3) デハイドレーター (簡易型)	1	B	A
(4) モニター機器	1	A	A				
(5) VTR装置 (3/4" Uマック)	1	A	A	5 TV方式変換装置 (LT/210)	1	A	A
(6) 送信機器	1	A	A				
(7) マイク送受信機器 (TVL-1134)	1	A	A				
(8) 車輻	1	A	A				
(9) 消耗部品、修理部品	1	A	A				
2 番組制作用機材							
(1) 編集機 (2XP-VTR/LXP-VTR)	1	A	A				
(2) UマチックVTR (編集用)	2	A	A				
(3) TBC (Uマック用)	2	A	A				
(4) ベータカム編集機 (PAL W/TBC)	1	A	A				
(5) 9ピンインターフェイス (BVE-800用)	3	A	A				
(6) 映像/音声スイッチ (BVE-800用)	1	A	A				
(7) ビデオモニター (13", 4-SYSTEM)	3	A	A				
(8) 編集卓	1	A	A				
(9) モニターデスク	1	A	A				
(10) サイドラック	3	A	A				
(11) 音声ミキサー (12-CHANNEL)	1	B	A				
(12) 音声モニター (2-SPEAKER)	1	A	A				
(13) コンデンサーマイク	1	A	A				
(14) その他各種部品	1	A	B				
3 測定機器							
(1) 7MHz FM 放送用測定装置 (GE502)	1	A	A				
(2) 低周波特性測定装置 (DPA-221A)	1	A	A				
(3) オシロスコープ (VP-5102B)	2	A	A				
(4) 簡易低周波発振器 (VP-7422)	1	A	A				
(5) 可変抵抗減衰器 (600Ω 121dB, 75Ω 91dB, 50Ω 81dB 挿入型)	各	B	A				
	2						

技術協力 1987年度供与機材活用・管理状況

1989.3 現在

機材名	数量	活用	管理	機材名	数量	活用	管理
1 教室教材用具				4 スタジオ用具			
(1) 発動発電機(220V 1kVA EY-1400X)	2	A	A	(1) カメラクレーン (TX-28)	1	A	A
(2) コピーマシン (FT-4065)	2	A	A	(2) コパ外ディスプレイボード	15	A	A
(3) 接写装置 (Z387-540)	1	B	A	(3) グランドピアノ (C7E)	25	A	A
(4) 音声テープ高速リビジョンマツ(CCP200)	1	B	A				
(5) スポットライト (3010-540, TSN-1)	2	B	A				
(6) フレキシブルスタンド(2247-110)	5	A	A				
2 強電実習用具※				※強電実習用具については、供与、引き取りが遅れたため、今後活用の予定。			
(1) 変圧器実験装置 (C-5720)	1	C	A				
(2) 実験用負荷装置 (LC, LL, LR)	3	C	A				
(3) 誘導電圧調整器 (2kVA, KVR-302)	1	C	A				
(4) 変圧器 (TA-5kVA)	1	C	A				
(5) シーケンストレーナー (RS-11A)	1	C	A				
(6) クランプ電力・力率計 (3163)	2	C	A				
(7) クランプ漏洩電流計 (3263)	2	C	A				
(8) 電池式メガー (3110-01, ~ -05)	5	C	A				
(9) 検相器 (3122)	5	C	A				
3 弱電実習用具							
(1) 交流ブリッジ (LCR-6)	1	A	A				
(2) 可変抵抗減衰器 (RA920, UBA761A)	4	A	A				
(3) ダイアル抵抗器 (RD-54LA)	2	A	A				
(4) 可動抵抗器 (3310-550, SR-3)	2	A	A				
(5) 電気計器 (DC, AC 電流、電圧計)	16	A	A				
(6) 直流電源 (LPS-160-3)	12	A	A				
(7) スライダック (S-260-5)	5	A	A				
(8) 周波数カウンター (EUC-6)	1	A	A				
(9) TG-5ユニット(20W出力用, 3U4B)	1	A	A				
(10) Qメーター (HQ-1601)	1	B	A				
(11) 真空管試験機 (VG-4G-N)	1	C	A				
(12) インプットインサート (2320)	1	A	A				
(13) SWR形電力計 (SP-350)	1	B	A				
(14) UHF受信機 (GRECON 50DS)	1	C	A				
(15) 高周波電流計 (2016-01, 02, 03)	3	B	A				

供与機材故障・修理状況

機 器 名 (メーカー・モデル) No.	故障年月	故障状況	故障原因	措置	備考
TVスタジオ副機室 ビデオライチャ NEC TKS-2000	1985. 3	・映像切れ不良 ・MK2入ネ少点灯せず ・MASK可変範囲狭し	・MK1-A, IC18の不良 ・LED LAMP不良 ・MK-KEY CONT, UNIT 不良	・予備品と取り替え ・予備品と取り替え ・再調整	
TVスタジオライチャ ビデオライチャ NEC TKS-2000	1985. 3	・映像切り替え不良	・MK1-SUPのIC18, IC34不良	・予備品と取り替え	
カラモニター (PGM用) 3Q TPMC 511A	1985. 3	・色がつかない	・VIDEO & SYNC PROCESS 不良	・再調整	
カラモニター (VE用) 3Q TPMC 511A	1985. 3	・PURITY不良	・DEGAUS回路設計不良	・改修	
スームレンズ キャンオン PV12X14B	1985. 2	・Focus とれず	・機構不良	・日本で修理 その間代用品使 用	
カラ-TVカメラ (No. 1) NEC NC-37	1985. 3	・View Finder H-Holdはずれ	・初期不良	・H-Hold 再調整	
カラ-TVカメラ (No. 2) NEC NC-37	1987. 9	・赤チャンネル抜け	・前置増幅器コパの接触不良	・接触部分を磨いて回復	
カラ-TVカメラ (No. 3) NEC NC-37	1985. 3	・CC-Filter, Remote 不良	・LED位置不良	・再調整	
カラ-TVカメラ (No. 1,2,3) NEC NC-37	1987. 10	・緑チャンネルレベル大	・前置増幅器の調整不良	・再調整	
カラ-TVカメラ (No. 1,2,3) NEC NC-37	1985. 3	・Auto White 動作 せず	・初期不良	・CCUの再調整	
キャラクタージェネレーター FORA MU-300	1985. 3	・Magnetic Card Memory 不動作	・IC2A, IC2B, IC2Cの不良	・予備ICと取り替え	
FSS TKG203 池上	1985. 3	・CH-1のR- Gain が時々変化	・コンデンサー C-3 不良	・予備品と取り替え	
カラ-TVカメラ NEC MNC-100	1986. 12	・映像にノイズ発生	・SG基板不良	・予備基板手配 (87/4 月号)	
VTR (1号機) SONY 2000P	1987. 8	・再生カラーロック不良	・ICQ7不良	・予備ICと取り替え	
VTR (2号機) SONY 2000P	1987. 12	・映像にノイズ発生	・Main Clock の IC8 不良	・予備ICと取り替え	

供与機材故障・修理状況

機 名 (メーカー・モデル) No.	故 障 年 月	故 障 状 況	故 障 原 因	措 置	備 考
VTR SONY BVU-800P	1985. 11	・テープの巻き取り不良	・不明	・機構部を分解、清掃して回復	
VTR SONY BVW-40P	1986. 2	・特定の色が出ない	・不明	・メーカー手配	・検収で不良と判明 メーカーでの工場 検査が不十分と考 えられる
	1986. 4	・同上	・不明	・再度検収で不良、SONY 代理店に返送	
	1988. 2	・ほぼ上記と同じ	・内蔵TBC基板に疑いあり	・種々代理店に返送	
テープレコダー DENON 3301RGE	1987. 6	・テープ巻き取り不能	・SERVO AMP の調整 すれ	・再調整	
波形モニター テクトロニクス 1481	1985. 3	・LINE SELECTOR がOFF 時及び IS LINE 時に BEAM 流れる	・R6680-VR調整不良	・CRT GRID BIAS 用VTRを再調整	
	1985. 10	・高圧低下	・高圧抵抗断	・抵抗取り替え	
TBC (No. 1) SONY BVT-800PS	1985. 3	・CHROMA つかず	・Xtal VCO 不良	・予備品手配 ('85/10 月迄)	
TBC (No. 3) SONY BVT-800PS	1987. 3	・映像断	・CLOCK GEN. 不良	・予備基板と取り替え	
録音時計 SEIKO QC88B	1985. 3	・J J Y校正不能	・DELAY TIME REGULATION 基板 不良	・基板を清掃して回復	
エンベロープオシロスコープ 日通機 2320	1985. 3	・高圧印加せず	・ダイオードD5, D7, D9 抵抗R104 不良	・予備品と取り替え	
試験信号発生器 SIBASOKU TG-5E	1985. 3	・スイッチ破損	・不明	・新品と交換	
同軸パルス発生器 LINK 251D	1985. 3	・動作せず	・ダイオードS-1 不良	・予備品手配 ('85/10 月迄)	
1kW中波放送機 TOSHIBA RW-41GS	1986. 2	・600W PA 発火	・終段IC不良	・メーカー派遣により現地修理	
マイクロー送信機 (FPU) NEC TVL-113G	1989. 2	・映像反転	・変調器不良	・メーカーへ返送、修理依頼中	
マイクロー受信機 (FPU) NEC TVL-113G	1989. 2	・出力信号なし	・ミキサダイオード不良	・メーカーへ返送、修理依頼中	
TV中継車 (1号車) 用発電機 ONAN	1989. 3	・発電機起動せず	・イグニッションコイル 1次巻線 断線	・現地で類似品調達の可否につ いて調査中	

5. プロジェクト実施体制

5-1 組織・要員

(1) MMTCの組織は、従来から特に変更はなく、総務、教務、技術の3部と専任教官の4者で構成されている（組織図……別添①）。

(2) 職員数は92名で、うち正職員は前年度より3各増えて69名となった。

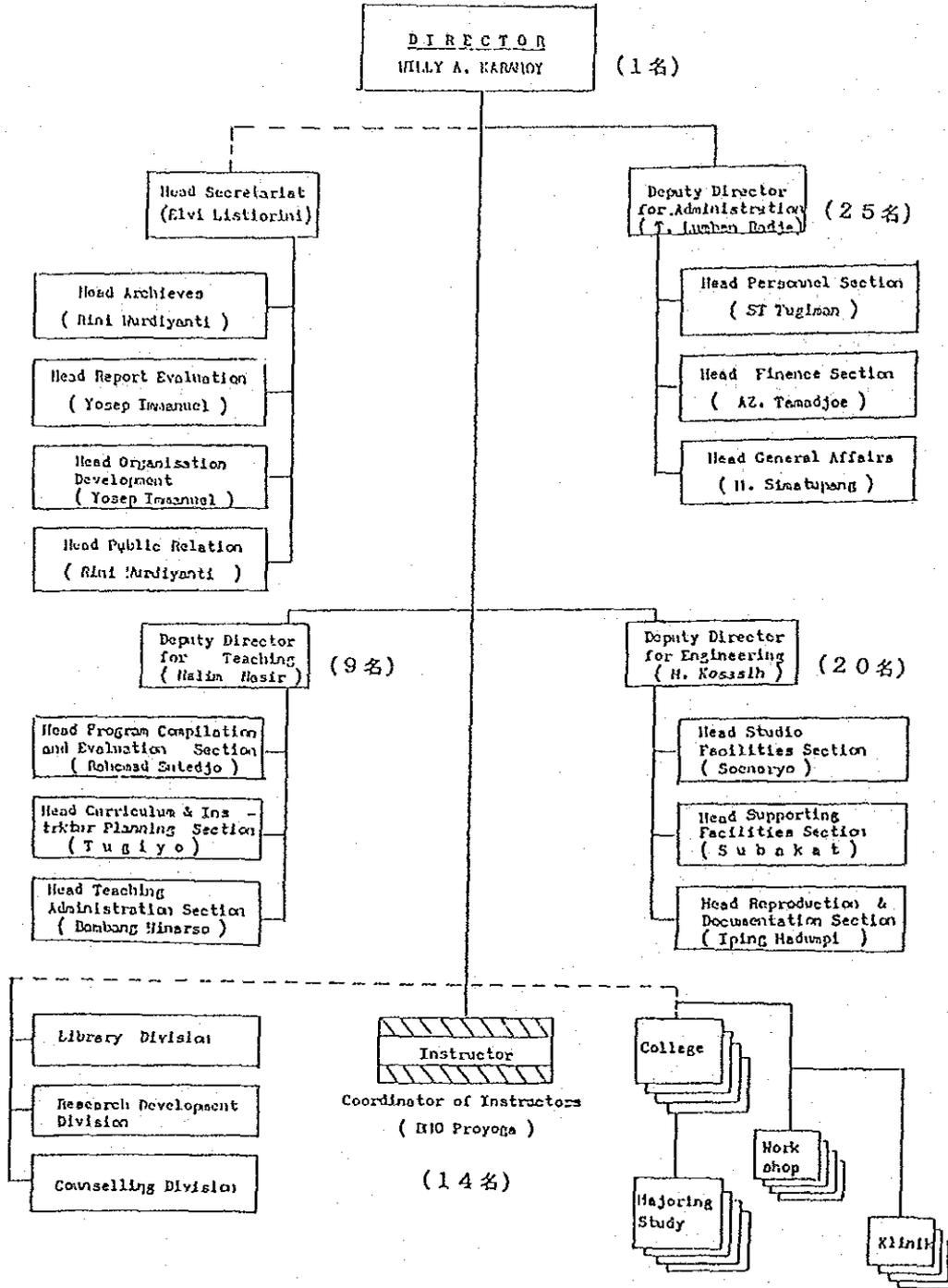
職員数の内訳は別添②のとおり。正職員について前年度と比較すると、総務部2名減、教務部同数、技術部3名増、専任教官2名増で、機材の保守と教育スタッフの充実を重視する傾向がうかがえる。

なお、教官数は、専任教官14名と他部スタッフとの兼務である兼任教官12名の合計26名で、この他、必要に応じて外部から臨時の教官を招いている。また、1989年度には正職員の教官2名が増員される予定である。

(3) 職員のうちカウンターパートについては、4-2「カウンターパートの配置」の項で詳述する。

MMTC組織図
 ORGANISATION CHARTS OF
 MULTI MEDIA TRAINING CENTRE
 YOGYAKARTA

1989年3月現在



注(1) 正式な組織は、実務部のみ

(2) ()内の数字は、正職員数

1989年度MMTC職員数及び教官数

1989年3月現在

職員数；92名（うち正職員数69名）

所長	1	
総務部	46	（うち正職員数25）
教務部	11	（ 同 9）
技術部	20	（ 同 20）
専任教官	14	

正職員69名のうち19名はTVRIより給与を受けている。

教官数；26名

専任教官	14
兼任教官	12

専任教官

- 1 DRS. DHOPRAYOGA
- 2 SOEHARTO
- 3 DJUDJUR SETIAWAN
- 4 HARHEN HARRY
- 5 DRS. SYAIRIR K.
- 6*DRS. SUGENG R.
- 7 DJOKO YUNianto
- 8 LEMBA SUSANTO
- 9 BAMBANG WITOMO
- 10 DRS. SITIYO H.
- 11*DRS. DARWANTO
- 12 KARTINI
- 13 UTJUK RAHARDJO
- 14 ENDANG SULISTYA S.

兼任教官

- 1*DRS. WILLY A. KARAHAY
- 2 HALIK NASIR
- 3 DRS. H. KOSASIH
- 4 RACHMAD SUTEDJO SH
- 5 DRS. TUGIYO
- 6 BAMBANG WINARSO BA
- 7 SUNARYYO BA
- 8 SUBAKAT
- 9 IPING MADUHPI
- 10 MAURICE SIMATUPANG SH
- 11 DRS. A. Z. TAMADJO
- 12*TOGAR

番号のあとの*印は、教育文化省認定の教官で4名のみである。
この他に、DIコースのために外部から17人の教官が予定されている。

5-2 建物・施設

建物・施設の概要は次のとおり。

前回調査時（1988年4月）以降、特段の増改築等を行われていない。

なお、参考までに、将来計画部分も含めたMMTCの施設図を次頁に示す。

(1) 敷地	69,462m ²
うち、研修施設分（前面）	37,515m ²
宿泊施設分（後面）	31,947m ²
(2) 建物	11,218m ²
うち、日本側（研修施設）	5,495m ²
インドネシア側	5,723m ²
（講堂、図書館、食堂、宿泊施設）	

(3) 施設

① ラジオ・TVスタジオ	(1,867 m ²)
② 事務室	(1,555 m ²)
③ 教室	(830 m ²)
④ 実習室	(105 m ²)
⑤ ワークショップ	(103.6m ²)
⑥ 講堂	(823 m ²)
⑦ 図書館	(625 m ²)
⑧ 食堂	(475 m ²)
⑨ 職員用宿舎及び研修生寮	(3,800 m ²)
⑩ 送信室	(103.6m ²)
⑪ ラジオOBバン1台、テレビOBバン2台	

(4) 経費

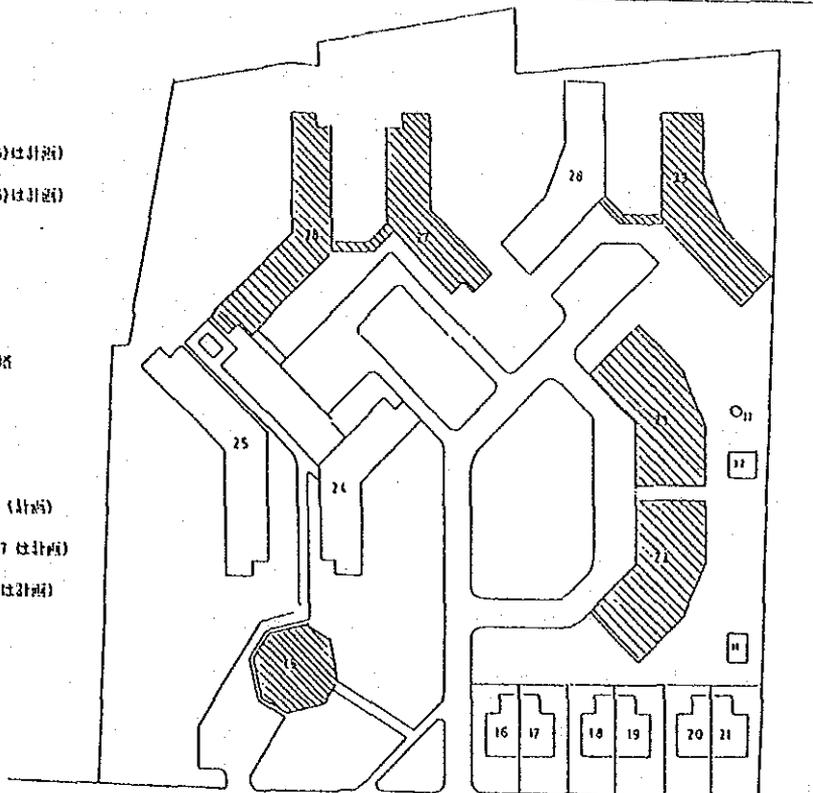
日本側 18億円（建物約7億円，機材約9億円，コンサル料1.6億円）

インドネシア側 13億円（土地，建物）

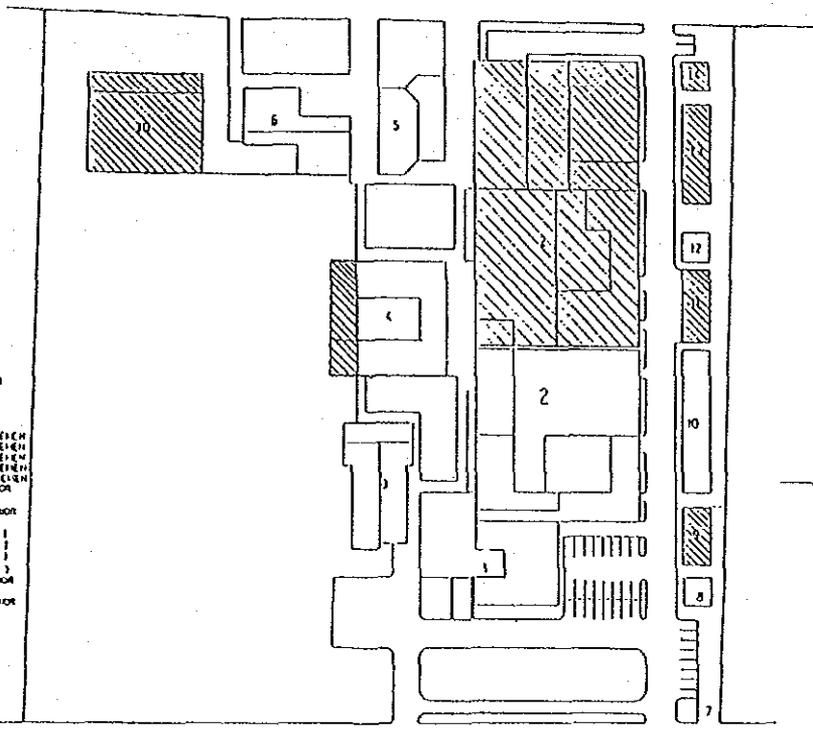
MMTC 施設図

1957年3月現在

1. 事務所
2. 実験室 (材料部) (計画)
3. 講堂
4. 教室 (材料部) (計画)
5. 図書室
6. 食堂
7. 守衛室
8. 受電室
9. 発電室 (計画)
10. 送電機室
11. 車庫 (計画)
12. ポンプ室/貯水塔
13. 上水道 (計画)
14. 下水道 (計画)
15. モスク (計画)
- 16~21. 高級職員用舎
- 22, 23. 一般職員用舎 (計画)
- 24~27. 研修生舎 (25, 27 已計画)
- 28, 29. 教授用舎 (29 已計画)
30. 体育館 (計画)
31. 正門
32. ポンプ室
33. 配り置き場



- LEGENDA:
- 1 GEDUNG ADMINISTRASI
 - 2 GEDUNG LABORATORIUM
 - 3 GEDUNG PERPUSTAKAAN
 - 4 GEDUNG PENCAKRAWAN
 - 5 PERPUSTAKAAN
 - 6 RESTORAN
 - 7 POS JAGA
 - 8 GARDU LISTRIK
 - 9 RUMAH GEREJA
 - 10 RUMAH PERAWAN
 - 11 BRIGADIER JARAS
 - 12 RUMAH PERAWAN (SISWA) A
 - 13 BRIGADIER KARU SISA
 - 14 RUMAH JAGA
 - 15 JASSORLA
 - 16 RUMAH PERAWAN DUNIA
 - 17 RUMAH PERAWAN DEPARTEMEN
 - 18 RUMAH PERAWAN DEPARTEMEN
 - 19 RUMAH PERAWAN DEPARTEMEN
 - 20 RUMAH PERAWAN DEPARTEMEN
 - 21 RUMAH PERAWAN DEPARTEMEN
 - 22 RUMAH GEREJA STAFF SEHON
 - 23 LALANG I
 - 24 RUMAH SISWA I (LALANG I)
 - 25 RUMAH SISWA I (LALANG I)
 - 26 RUMAH SISWA I (LALANG I)
 - 27 RUMAH SISWA I (LALANG I)
 - 28 RUMAH GEREJA STAFF SEHON
 - 29 RUMAH GEREJA STAFF SEHON
 - 30 LALANG I
 - 31 GEDUNG OLAH RAGA
 - 32 LAMPI PAKEL
 - 33 RUMAH PERAWAN
 - 34 LUBANG PERCEKORAN



← KE TUGIA

→ KE MAGEUNG

SITUASI MMTC

TODAKARTA

5-3 予算

(1) MMTCの予算は、ディプロマコースを運営するための開発予算(Development Budget または Project Budget)と、人件費、管理費等の通常予算(Routine Budget)に大別され、開発予算は国家開発計画庁、通常予算は大蔵省が所掌している。

また、ディプロマコース以外の短期訓練は、TVRI, RRI等の委託費により実施している。

(2) MMTC開所以来の予算の推移は次頁のとおり。

緊縮財政下にあつて毎年順調な伸びを示しており、1989年度は全体で前年度比37.5%の増、開発予算に限れば82.4%もの増額で、ディプロマコースの実施に対するインドネシア側の熱意の現れとして高く評価できる。

なお、1989年度の開発予算と通常予算の内訳は、各々108頁と109頁のとおりである。

(3) 開発予算については、毎年6月頃、MMTCからYogyakarta ProvinceのBAPPEDA(地域開発計画を所掌)にProposalが提出され、その了承を経た後BAPPENAS(国家開発計画庁)へ上げられる。BAPPENASでは前年度の実績等を勘案して1件ごとに査定を行い、それらを取りまとめた全体予算の概要が翌年1月上旬の大統領スピーチで全国に示される。その後、大蔵省、BAPPENAS、情報省の3者の合意を経て、最終的な金額が通常2月頃に決定される。

(4) D Iコースの訓練生1人当たりの開発予算は、年度により若干異なるが、過去の実績等から試算すると、約360万ルピアとされている。

MMTC『イ』側予算推移表

1989年3月現在 No.1

年度 項目	1985/86			1986/87			1987/88		
	開発	通常	小計	開発	通常	小計	開発	通常	小計
予算要求額 (A)	---	---	---	1,900,000	2,280,080	4,180,080	3,564,704	2,811,490	6,376,194
予算額 (B) (内示額)	*239,495	---	239,495	180,860 * 34,679 215,539	454,600	670,139	191,588 * 75,372 266,960	421,100	888,060
不足額 (C) (A-B)	-239,495	---	-239,495	1,684,461	1,825,480	3,509,941	3,297,744	2,390,390	5,688,134

No.2

年度 項目	1988/89			1989/90			合計	備考
	開発	通常	小計	開発	通常	小計		
予算要求額 (A)	1,602,660	2,901,100	4,503,760	663,522	1,321,903	2,005,425	17,065,459	・単位：千R P ・*印は、当初RRI 訓練所、TVRI訓練所等へ割り当てられて予算を、最終的にMMTCの開発予算として振り替えたものである。
予算額 (B) (内示額)	240,000	628,600	868,600	437,680	756,700	1,194,380	3,560,674	
不足額 (C) (A-B)	1,362,660	2,272,500	3,635,160	245,842	565,203	811,045	13,404,785	

RECAPITULATION OF PROJECT BUDGET
FOR FISCAL YEAR 1989/1990

NO	I T E M S	PROPOSAL	APPROVAL	LACK OF BUDGET
1.	Diploma I (120 participants) 5 program studies x 24 part.= 120 part A. Programmes Compilation Planning B. Program Lines Production C. News and Current Affairs Reporting D. Studio and Master Control Technique Operation E. Transmission Operation F. Project Administration	Rp. 81.088.000 Rp. 81.088.000 Rp. 81.088.000 Rp. 81.088.000 Rp. 84.808.000 Rp. 18.150.000	Rp. 64.368.000 Rp. 68.362.000 Rp. 68.362.000 Rp. 68.362.000 Rp. 68.362.000 Rp. 15.212.000	Rp. 16.720.000 Rp. 12.726.000 Rp. 12.726.000 Rp. 12.726.000 Rp. 12.726.000 Rp. 12.726.000
2.	Diploma II (36 participants) 3 program studies x 12 part.= 36 part. A. Program Package Production B. Script/ Story Writings C. Studio Production Technique.	Rp. 53.740.000 Rp. 53.740.000 Rp. 53.740.000	Rp. charged on the Routin	- - -
3.	Diploma I, Continuation Course (Sem. II) 72 participants for 6 monts A. Production and Journalism 2 x 12 participants= 24 participants B. Studio Operation Technique and Transmission Operation 2 x 24 participants= 48 participants	Rp. 34.680.000 Rp. 60.312.000	Rp. 38.648.000 Rp. 46.004.000	- Rp. 14.308.000
T O T A L		Rp. 683.522.000	Rp. 437.680.000	Rp. 245.842.000

SUMMARY FOR ROUTINE BUDGET
F.Y. 1989/1990

No.	I T E M S	B U D G E T O F		DECREASE	INCREASE	R E M A R K S
		PROPOSAL	APPROVAL			
I.	Expenses for Employees					
	Salary and Allowance	Rp. 212.970.000	Rp. 210.800.000	Rp. 2.170.000	-	1. Increase of Rp. 2.400.000: Proposal: Rp. 42.200.000 Approval: Rp. 44.600.000 Rp. 2.400.000
	Allowance for Rice	40.360.000	25.400.000	14.960.000	-	
	Others	8.875.000	2.000.000	6.875.000	-	
II.	Expenses for Goods					
	Daily Needs	38.300.000	16.400.000	21.900.000	-	2. Increase of Rp. 23.560.000: Proposal: Rp. 42.840.000 Approval: Rp. 66.400.000 Rp. 23.560.000
	Office Inventories	23.300.000	10.000.000	13.300.000	-	
	Electricity, Telephone, Gas	201.540.000	161.150.000	40.390.000	-	
	Material and Equipments	657.703.000	189.950.000	467.753.000	-	
III.	Expenses for Maintenance					
	Maintenance for building	42.200.000	44.600.000	-	2.400.000	3. The decrease of: Rp. 565.203.000, is the result of the difference between increasing and decreasing.
	Maintenance for Vehicles	34.000.000	15.000.000	19.000.000	-	
	Others	42.840.000	66.400.000	-	23.560.000	
IV.	Expenses for Journey	19.815.000	15.000.000	4.815.000	-	
	T O T A L	1.321.903.000	756.700.000	591.163.000	25.960.000	

5-4 合同委員会

センターの業務開始、人事発令の遅れとディプロマ制の導入による基本計画の大幅変更等により、これまで合同委員会は開かれていなかった。このため、1988年4月のエバリュエーション調査団より関係者に早期開催方を強く申し入れる等の働きかけを行い、その結果、第1回合同委員会が次のとおり実施された。

インドネシア側によれば、第2回は1989年4月末に予定しており、関係者と調整中の由である。

第1回合同委員会

日 時：1988年9月26日10：00～12：30

場 所：ジャカルタ

出席者：（インドネシア側）情報省、国家開発計画庁、大蔵省

（日 本 側）プロジェクト専門家、JICA 事務所

（オブザーバー）日本大使館、個別専門家

内 容：プロジェクトの進捗及び問題点等に関する意見交換

付 属 資 料

1. プロジェクト概要表
2. プロジェクト実績線表
3. 日本側投入実績表
4. マスタープラン修正のミニッツ (1986年9月19日)
5. エバリュエーションのミニッツ (1988年4月15日)
6. 協力期間延長のミニッツ (1988年8月8日)
7. The Structure of Curriculum Programme (Diploma I)
8. The Structure of Curriculum Programme (Diploma II)
9. The Structure of Curriculum Programme (Diploma III)

1. プロジェクト概要表

(目付:平成元年 4月 1日現在)

- (プロジェクト名) インドネシアラジオ・テレビ放送訓練センター
(Radio and Television Training Center)
- 1. R/D等署名日 : 58. 10. 21 (延長) 63. 8. 8
- 2. 協力期間 : 58. 10. 21~63. 10. 20 (延長) 63. 10. 21~平成2. 10. 20
- 3. 所在地 : ジョジャカルタ (Yogyakarta)
- 4. 先方関係機関 : 情報省 (Ministry of Information)
マルチメディアトレーニングセンター (MMTC)
: 郵政省、日本放送協会
- 5. 我が方協力機関 : インドネシア国は、ラジオ・テレビ放送網の拡充を計画しているが、同計画を円滑に遂行するためには、人材不足という問題に直面しており、放送要員の養成・訓練が急務となっていることから、イ僕は、放送訓練計画を策定するとともに訓練センターの設置を計画し、その実施についてわが国に技術協力を要請してきた。
- 7. 目的・内容 : ラジオ・テレビ放送サービスに対する基礎的技術を習得させた上で、番組編成、番組制作、複製、制作、運行技術及び送信設備の各分野について人材の養成を図る。60年7月30日付けの大統領令No.59/60により、本センターはアカデミー(短期大学相当)として位置づけられ、就学期間(1~3年)に応じ、修了者にはダイプロマが授けられることとなった。
- 8. 現状・目標達成 : 本センターにおいては、当面、上記5分野のダイプロマコース(年間120名)を実施する計画である。60年7月31日大統領出席の下に開所式がとりおこなわれ、開講コースも開講された。60年度はイコース72名(但し、一学期のみ)、61年度はイコース40名、62年度は3コース60名、63年度は4コース72名の訓練が実施され、平成元年度は全5コース120名の他、第一期生の2学期分4コース48名を、試行的にダイプロマIIコース36名の訓練を行う予定である。
- 9. 問題点
- 10. 対策方針

11. 専門家派遣 研修員 機材供与

年 度	58	59	60	61	62	63	合計
長期		7	7	10	12	9	45
短期	4長期 調査員	2	3	3	6	3	21
研修員	4	5	4	5	5	5	28
機 材	0	23	160	97	25	20	325

(注) 専門家・研修員は送人員、機材は金額で単位百万円。

12. 他の経済協力との関係(無償・有償・個別専門家派遣・その他)

: 無償で施設建設、機材供与を実施している(18億)(59年3月完工)。又、ダイプロマ側の導入に伴い追加無償の要請が出されている。(約9億円)

13. 評価 : 本プロジェクトの施設・訓練内容共ASEAN 地域第一との評価が先方からなされている。

14. 調査団 : 1) 事前調査 57. 6. 10~57. 6. 23

2) 実施検証 58. 10. 12~58. 10. 22

3) 計画打合 58. 11. 25~12. 2/61. 9. 11 ~9. 20

61. 3. 20~3. 29

4) 巡回指導 60. 12. 12~12. 23

5) エグゼクティブレビュー 63. 4. 5~4. 16

15. 国内支援 : 国内支援体制整備費(なし)

視覚教材等整備費(なし)

2. プロジェクト実績線表

1989年3月現在

項目	年月	1983年(S58年)												1984年(S.59年)												1985年(S.60年)												1986年(S.61年)												1987年(S.62年)												1988年(S.63年)												1989年(S.64年)												1990年(H.2年)												延合計																																																																																																									
		10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3																																																																																																																																																						
専 門 家 派	長 期	リーダー&番組構成													5/16												白石克己												10/5												長谷川晃												10/21												18人																																																																																																																																
		報道													7/2												磯部洋一郎												7/12												7/11												(リーダーが報道分野も兼務)																																																																																																																																												
		番組制作													7/2												坂元多												10/5												鈴木功												10/21																																																																																																																																												
		送信技術													6/15												佐藤文雄												10/5												下地昇												10/21																																																																																																																																												
		制作技術													7/2												伊藤晃二												6/18												船和夫												10/10													小林修																																																																																																																															
		運行技術													7/2												園田修一郎												9/30												加藤勉												9/29													(小林専門家が運行技術も兼務)																																																																																																																															
		業務調整													5/30												柴田信二												5/12												浦上浩三												10/15													池城直												10/21																																																																																																																			
選	短 期													渡辺晋太郎												渡辺晋太郎												島山哲夫												高梨二三夫												沢田武松崎茂												島野紀夫												*3 松田 義明												20人																																																																																																									
														11/18												1/18												6/30												9/9												1/27												3/26												9/30													11/29												6/8												6/24												11/17												12/24												11/5												12/9												5/15												6/18								
*1	調 査 団	実施協議												計画打合せ												巡回指導												計画打合せ												評価												計画打合せ												7件																																																																																																																																	
		10/12 - 10/22												11/25 - 12/2												12/12 - 12/21												9/11 - 9/20												4/5 - 4/16												3/20 - 3/29																																																																																																																																													
リーダー会議														白石克己												白石克己												白石克己												長谷川晃												長谷川晃																																																																																																																																													
カ ウ ン タ ー バ ー ト 研 修	研 修	Kosasih Sugiyarto KD												Harnaen Hary Syahrir Kandung												Romain Rundi Elvi L.												Martinus S. Djudjur S.												Sunaryo												33人																																																																																																																																													
		1/19 - 4/15												7/19 - 10/30												2/7 - 3/30												7/18 - 11/3												8/5 - 10/6													1/16 - 3/13												7/20 - 9/21												1/18 - 3/18												1/16 - 4/4																																																																																																								
*2	調 練	BASIC II, III												7/22												(72人)												2/18																																				364人																																																																																																																																	
		DIPLOMA I																								4月												(40人)												4月												(60人)													4月												(72人)												4月												*4(120+48人)												4月																																																																																
DIPLOMA II																																																																																				4月												(36人)												4月																																																																																															
その他														7/30 ティブマプログラム導入												7/31 センター開所												7/7 教育放送の形												12/1 - 12/3																																																																																																																																																									

*1. 事前調査 57.6.10-57.6.23 (6/21ミニツ調印) *2. 調練中()内数字は調練生数を示す。*3. 1989年3月以降は予定である。*4. 内48人は85年度実施済のBII, III=01前期のみ終了者72人中48人の後期を実施。*5. C/P研修中()は柔団枠を示す

3. 日本側投入実績表

1. 専門家派遣

(1) 長期専門家

担当業務	専門家氏名	派遣期間	所屬先
リレー兼番組編成	白石克己	59.5.16~62.10.15	NHK(嘱託)
	長谷川 晃	62.10.5~63.10.20	NHK
リレー兼番組編成兼報道	長谷川 晃	63.10.21~元.10.21	NHK※
業務調整	柴田 信二	59.5.30~61.5.29	なし
	浦上 浩三	61.5.12~62.10.15	"
	池城 直	62.10.5~元.10.21	JICA※
番組制作	坂元 多	59.7.2~62.10.15	NHK
	鈴木 勇	62.10.5~63.10.21	"
	時松 佑兒	63.10.10~2.10.21	" ※
報道	磯部洋一郎	59.7.2~61.7.1	NHK
	福岡 薫	61.7.12~63.7.11	"
制作技術	伊藤 晃二	59.7.2~60.9.12	NHK
	館 和夫	61.6.18~62.6.17	"
	岡野正二	62.10.5~63.10.21	"
運行技術	園田修一郎	59.7.2~61.7.1	NHK
	加藤 勉	61.9.30~63.9.29	"
制作・運行技術	小林 修	63.10.10~2.10.21	NHK※
送信技術	佐藤文雄	59.6.15~62.10.15	NHK(嘱託)
	下地 昇	62.10.5~元.10.21	NHK※

※印=平成元年3月現在派遣中

(2) 短期専門家

年度	専門家氏名	担当業務	派遣期間	所屬先
58	原田 益水	長期調査(協力計画)	58.8.1~58.8.31	NHK
	渡辺晋太郎	"	"	"
	白石克己	"	"	"
	武吉 尊	"	58.8.22~58.8.31	郵政省
59	渡辺晋太郎	運営管理	59.11.18~60.1.18	NHK
	斎藤 博巳	美術	59.12.8~60.1.17	"
60	渡辺晋太郎	運営管理	60.6.10~60.9.9	NHK
	島山 哲夫	フィルム現像	61.1.27~61.3.26	"
	稲田 正康	放送資料	61.3.13~61.5.12	"
61	高梨二三夫	ニュース編集	61.9.30~61.11.29	NHK
	竹内 正明	スタジオ照明	"	"
	遠藤 芳朗	電力設備保守	61.11.4~61.12.3	"
62	沢田 武	送信機攝付	62.6.8~62.6.24	NEC
	林 彰	"	62.6.8~62.6.29	東芝
	石井 晃	アナテナ技術	62.9.9~62.9.22	NHK
	松崎 茂	音響	62.11.16~62.12.27	"
	篠田 光昭	サウンド・ミキシング	"	"
	横山 滋	世論調査	63.1.18~63.2.17	"
63	島野 紀夫	保守理論と技術	63.11.5~63.12.9	NHK
	和食 晴	受信技術	"	"
	河内 博司	テレビ特殊効果技術	"	"

以上延べ21名

うち、技術指導 15名

機材提供 2名

長期調査 4名

2. 研修員受入れ

年度	C/P氏名	研修期間	研修科目	受入先
58	Halim Nasir	59.1.19~59.4.15	教育テレビ番組	NHK
	Kosasih	"	テレビ放送技術	"
	Tugiyono	"	"	"
	*Ananto Pratikno	"	教育テレビ番組	"
59	Sugiyarto KD	59.7.19~59.10.30	放送管理	NHK
	Bagus Mohammad Prayoga	59.8.2~59.10.30	教育番組	"
	Sjahran Nasution	"	放送管理	"
	Harmen Hary	60.2.7~60.3.30	テレビ・グラフィック・デザイン管理運営	"
	Togar Lumban Radja	"	"	"
60	Syahrir Kandung	60.7.18~60.11.3	テレビ制作技術	NHK
	Iriandi	"	音響技術	"
	Indrati Munandari	60.8.1~60.11.3	番組編集	"
	Bambang Winarso	"	番組制作	"
61	Romain Rusdi	61.8.5~61.10.6	教育テレビ番組	NHK
	Elvi Listiorini	62.1.16~62.3.13	放送ライブラリ	NHK 図書館情報大学
	Mooryantoro	62.1.18~62.3.31	テレビ放送技術	NHK
	Bambang Witomo	62.1.18~62.4.5	教育テレビ番組	"
	Maurice Sinatupang	62.3.20~62.5.21	ニュース及び放送番組管理	"
62	Suparwoto	62.7.20~62.9.21	教育テレビ番組	NHK
	Mochammad Sarplih	62.7.20~62.10.14	ラジオ放送技術	"
	Djoko Yuniarto	62.7.20~62.11.4	テレビ放送技術	"
	Soeharno	62.7.20~62.11.4	"	"
	Rachmad Sutedjo	62.11.7~62.12.4	調査	"
63	Subakat	63.7.18~63.10.25	テレビ技術	NHK
	Lembah Susanto	"	"	"
	Sunaryo	元.1.24~元.4.4	放送運営管理	"
	Djujur Setiawan	"	テレビ技術	"
	Mulaton	元.1.30~元.3.14	放送運営管理	"

(以上、計28名) 注 (1) 本表はC/P特にて受け入れた者のみ。

(2) 帰国後は5名がTVRI, RRIの放送局に転出して

いる。

3. 機材供与

年度	実績額	(購入費)	(輸送費)	備考
59	23,156千円	(21,300)	(1,856)	一部58年度繰越
60	159,960	(150,630)	(9,330)	一部59年度繰越
61	96,641	(93,804)	(2,837)	
62	25,445	(24,490)	(955)	
63	20,232	(20,232)	(未定)	輸送未了
合計	325,434千円	(310,456)	(14,978)	

<各年度の供与機材リストは別紙のとおり>

なお、上記供与機材の他、専門家の携行機材として購送した機材の実績は次のとおり。

年度	実績額	主な品目
59	4,001千円	VTRカメラ、モニター、VTRテープ、文房具、書籍
60	2,208	書籍、資料、VTR、モニター他(含、現地調達)
61	3,014	モデムホン、ベータカム用交流電源、ワープロ、レコード、書籍他
62	2,969	タイプライター、音声用高速ダビングマシン、撥音笛、文房具、ワープロ他
63	7,901	パーソナルコンピュータ、ビデオカメラ、テープレコーダー、書籍、VTRコントロールアダプター他
合計	20,093千円	

(輸送費を含む)

4. 調査団派遣

(1) 事前調査 57. 6. 10 ~ 6. 23 (14日間)

担当業務	団員氏名	所属先	調査内容
団長	福田 滋	郵政省国際協力課	日本の放送網拡充計画に 対処する観点で、放送人 材として、必要な幅広い基 礎的知識技能を習得させ るための研修内容及び協力実 施の妥当性等を調査し た。
団員	仙座 久義	外務省技術協力 第三課	
"	白石 克己	NHK 中央研修 所	
"	原田 益水	"	
"	渡辺 晋太郎	"	
"	宮本 秀夫	JICA 海外セ ンター課	

(2) 実施協議調査 58. 10. 12 ~ 10. 22 (11日間)

総括	番組制作・編成	放送技術 管理運営	技術協力
小泉 敏三	白石 克己	佐藤 文雄	西端 則夫
郵政省国際協力 課 NHK 中央研修 所 " " " " JICA 海外セ ンター課			
本件協力の基本計画、実 施計画等につき調査、協 議を行い、R/D、TSIに 取りまとめを署名した。			

(3) 計画打合せ調査 59. 11. 25 ~ 12. 2 (8日間)

団長	岡村 経一	郵政省放送行政 局
団員	村田 肇	NHK 中央研修 所
"	内田 智允	JICA 海外セ ンター課
イ側の実施体制及び訓練 計画の内容を確認すると ともに今後のプロジェク ト運営につき協議した。		

(4) 巡回指導調査 60. 12. 12 ~ 12. 21 (10日間)

総括	青木 和之	郵政省通信政策 局
訓練計画	宇田 信一郎	NHK 総合企 業
業務調整	笠 島 雅之	JICA 海外セ ンター課
技術移転、専門家活動 機材管理等の状況と併 せ、イ側の将来計画(字 アイプロマ制)を調査し た。		

(5) 計画打合せ調査 61. 9. 11 ~ 9. 20 (10日間)

総括	阿部 信司	JICA 社会開発 協力部
協力企画	島添 隆幸	郵政省国際協力 課
訓練計画	渡辺 晋太郎	(財) NHK 放 送研修センター
業務調整	湊 芳郎	JICA 海外セ ンター課
プロジェクトの進捗状況 の確認、将来計画の把握 とともに、アイプロマ制 導入に伴うR/Dの一部修 正をミニミーティングにて行った。		

(6) エンバリエーション調査 63. 4. 5 ~ 63. 4. 16 (12日間)

総括	稲村 公望	郵政省国際協力 課
番組研修計画	八重松 克羅	NHK 番組制作 局
放送技術研修計 画	桃沢 英明	NHK 総合企 業
業務調整	湊 芳郎	JICA 海外セ ンター課
過去5年間の技術協力の 進捗状況を確認し、プロ ジェクトの完成度につい て評価を行うとともに、 協力継続の必要性につ き調査、協議を行った。		

(注) 上記の他、短期専門家として、58. 8. 1 ~ 58. 8. 31の間、長期調査員
チーム(4名)を派遣。
(以上、6調査団延べ25名)

5. ローカルコスト負担

年度	費目	一般 現地業務費	現地業務費 臨時支給	貧困 困対策費	技術普及 広報費	現地語教科書 作成費	応急 対策費	視聴管等 教材整備費	技術 交換費	合 計
58		千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	0	千円 0	千円 0	千円 0
59		1,350	301	800	0	0	0	0	0	2,451
60		1,550	1,222	1,200	0	0	0	0	0	3,972
61		1,620	1,153	1,200	672 (パンフレット)	0	RP. 7,500,000 (事務所アール分 より支出)(揚水ボ ンプ)	0	0	4,645 (+7,500,000RP)
62		1,790	968	1,200	3,000 (ビデオ)	1,000	0	0	0	7,958
63		1,668	2,517 (城内旅費 物品購入)	1,200	0	0	千円 1,226 (給水工事他)	2,000 (VIR)	1,618 (AIBD)	10,229
合 計		千円 7,978	6,161	5,600	3,672	1,000	千円 1,226 (+7,500,000RP)	2,000	1,618	千円 29,255 (+7,500,000RP)

昭和59年度供与機材

No	機材名	数量
1	共用事務機材	
1-1	コピーマシン	2
1-2	タイプライター	5
1-3	電卓	8
1-4	月予定表板	4
1-5	パーソナルコンピュータ及びワードプロセッサ	3
1-6	プロッター	2
2	車両	
2-1	自動車	2
3	測定機器	
3-1	電解液測定器	1
3-2	ベクトルインピンダンスメーター	1
3-3	高電圧高帯域プローブ	2
3-4	周波数変換器	1
3-5	周波数ユニット	2
3-6	低周波特性測定器	3
3-7	オシロスコープ	10
4	番組制作機材	
4-1	ベータームービーカメラ	1
4-2	カラーモニター	1
4-3	カラーモニター	1
4-4	ビデオカセットテープ	20
4-5	充電器	1
4-6	予備バッテリー	1
4-7	スピーカー	1組
4-8	オーディオケーブル	1
4-9	各種部品	—
4-10	同軸コード	150
4-11	工具	51

昭和60年度供与機材 (別紙)-1/3

No	機材名	数量	No	機材名	数量
1	番組制作機材		7	教室用機材	
1-1	VHS-VTR	1	7-1	ホワイトボード	5
1-2	ベーターマックスVTR	2	7-2	OHP	5
1-3	UマチックVTR (NTSC)	1	7-3	スライドプロジェクター	1
1-4	"	1	7-4	VHS・VTR	3
1-5	カラービデオモニター	5	7-5	β-VTR	2
1-6	音声モニター	3	7-6	Uマチック・VTR	1
2	共用事務機材		7-7	VHS・VTRカセットテープ	50
2-1	ホワイトボード	5	7-8	β-VTRカセットテープ	50
2-2	OHP	5	7-9	Uマチック・VTRカセットテープ	40
2-3	スライドプロジェクター	1	7-10	カラーモニター	7
2-4	電卓	25	8	番組制作機材	
3	フィルム現像機材		8-1	音響用機材	
3-1	ボラロイドカメラ	2	8-2	音響用テープ編集機	5
3-2	双眼鏡	2	8-3	音響用テープ編集機	50
3-3	カセットテープレコーダー	5	8-4	ベーターカムVTR再生器	1
3-4	カラーチャート	2	9	送信機材	
3-5	電気冷蔵庫	2	9-1	FMステレオ送信機	1
3-6	35mmカメラ	2	9-2	中波AM送信機	1
4	撮影機材		9-3	中波二重給電装置	1
4-1	カラーカメラ	1式	9-4	UHFアンテナ共用装置	1
4-2	ズームレンズ	1	9-5	SSB送信機	2
4-3	電池	4	9-6	SSB受信機	2
4-4	充電器	2	9-7	リニアアンテナ	3
4-5	三脚及び雲台	1	10	実習用機材	
4-6	ビデオカセットテープ	100	10-1	マイクローエープ実習用セット	3
5	教室用機材		10-2	波形モニター	3
5-1	教育実習機器	15	10-3	フランクショーンゼネレーター	15
5-2	回路テスター	15	40-4	電気測定器	3
5-3	ディップメーター	3	10-5	スライプゼネレーター・ユニユニット	2
5-4	高周波アリソン	3	10-6	オシロスコープ	5
6	テレビ中継車機材		10-7	ワードプロセッサ用ソフト	3
6-1	カラーテレビカメラ	1組	11	音声用機材, 車両	
6-2	ビデオ機器	1式	11-1	放送中継用FM送信機	1
6-3	オーディオ機器	1式	11-2	放送中継用FM受信機	1
6-4	モニター機器	1式	11-3	ラジオカー	1
6-5	VTR装置	1式	11-4	マイクローバス	1
6-6	送信機機器	1式			
6-7	通信機器	1式			
6-8	車両	1式			
6-9	消耗部品, 修理用品	1式			

昭和61年度供与機材

No	機材名	数量	No	機材名	数量
1	テレビ中継車機材	4		テレビ用アンテナ部品	
1-1	カラータレテレビカメラ	1組	4-1	アンテナ部品	6
1-2	ビデオ機器	1式	4-2	給電機部品	35
1-3	オーディオ機器	1式	4-3	デハイドレーター	1式
1-4	モニター機器	1式			
1-5	VTR装置	1式	5	TV方式変換装置	1
1-6	送受信機器	1式			
1-7	通信機器	1式			
1-8	車面	1式			
1-9	消耗部品、修理部品	1式			
2	番組制作用機材				
2-1	編集器	1式			
2-2	UマチックVTR	2式			
2-3	T B C	2式			
2-4	ベータカムVTR	1式			
2-5	9ピンインターフェイス	3式			
2-6	ポリエラムボックス	1式			
2-7	VTRモニター	3式			
2-8	編集卓	1式			
2-9	モニターデスク	1式			
2-10	サイドラック	3式			
2-11	音源ミキサー	1式			
2-12	音源モニター	1式			
2-13	マイク	1式			
2-14	その他各種部品	-			
3	測定機器				
3-1	ステレオFM放送用測定装置	1			
3-2	低周波特性測定器	1			
3-3	オシロスコープ	2			
3-4	簡易低周波誘導器	1			
3-5	可変抵抗減衰器	6			

昭和62年度供与機材

No	機材名	数量	No	機材名	数量
1	放送機材用具		3-14	短絡受信機	1
1-1	発動発電機	2	3-15	高周波電力計	1式
1-2	コピーマシニング	2			
1-3	検写装置	1	4	スタジオ用具	
1-4	音内テープ用高速ダビングマシニング	1	4-1	カメラクレーン	1式
1-5	スポットタイミングスコープ	2	4-2	コンパクトディスクプレーヤーセット	1式
1-6	フレキシブルスタンド	5	4-3	グラウンドピアノ	2式
2	強電実習用具				
2-1	変圧器実験装置	1			
2-2	実験用負荷装置	3			
2-3	誘導電圧調整器	1			
2-4	変圧器	1			
2-5	リレーシケリングスターナー	1			
2-6	クランプ電力・力率計	2			
2-7	クランプ漏洩電力計	2			
2-8	電池式メガー	1式			
2-9	検相器	5			
3	弱電実習用具				
3-1	交流ブリッジ	1			
3-2	可変抵抗減衰器	4			
3-3	ダイヤル抵抗器	2			
3-4	振動抵抗器	2			
3-5	電気計器	1式			
3-6	直流電源	12			
3-7	スライダック	5			
3-8	周波数カウンタ	1			
3-9	短絡信号発生器	1			
3-10	Qメーター	1			
3-11	真空管試験器	1			
3-12	エンペローアオシロスコープ	1			
3-13	通過形電力計	1			

昭和63年度供与機材

No	機材名	数量
1	スタジオ用機材	
1-1	カラーレコーダー	1台
2	ロケーション実習用具	
2-1	9インチモニター	2台
2-2	簡易監視ミキサー	2台
2-3	BETACAM	1台
2-4	MOTORIZED ZOOM LENS	1台
3	ニュース取材実習用具	
3-1	SUPER BETAMOVIE	1台
4	発電実習用具	
4-1	100MHz32chロジックアナライザー	1台
4-2	8ビットマイクロプロセッサアナライザー	3台
5	保守部品	
5-1	1インチVTR用子機基板	27枚
5-2	BETACAM RECORDER (BVM-40P) 用予備基板	17枚

4. マスタープラン修正のミニッツ (1986年9月19日)

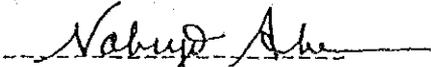
THE MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE JAPANESE CONSULTATION TEAM
AND
THE MINISTRY OF INFORMATION OF
THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON
THE RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTRE PROJECT

The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as "The Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Nobuji Abe (Deputy Director, Social Development Cooperation Department, JICA) visited the Republic of Indonesia from September 11, 1986 to September 20, 1986 for the purpose of discussions with authorities concerned of the Ministry of Information on the Radio and Television Training Centre Project (hereinafter referred to as "the Project") in the framework of the Multi Media Training Centre (MMTC) in Yogyakarta.

During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned, in connection with the new development occurred in the process of implementation of the Project owing to the introduction of Diploma Program in accordance with Presidential Decree (No. 59/1985) issued on July 30, 1985.

As a result of the discussions, both Japanese and Indonesian sides made the Minutes of Meetings which is attached hereto.

Jakarta, September 19, 1986.


Nobuji Abe
Leader
Consultation Team
Japan International
Cooperation Agency,
J A P A N



Drs. H. Abdul Kadir
Secretary General
Ministry of Information
THE REPUBLIC OF INDONESIA

I. Adoption of Diploma Program System.

1. Concerning the Project, Indonesian side explained as follows, and requested further technical cooperation to the Team.

- (1). The contents of the Master Plan for Diploma I Program as given in ANNEX I are substantially equivalent to the basic training courses as stated in the article 4-(2) of the Minutes signed on December 19, 1985 and is being conducted duly at present.
- (2). The overall plan for Diploma I, II and III is as given in ANNEX II and Diploma II and III training courses are planned to commence from 1989 and from 1990 respectively at the earliest as stated in ANNEX II in parallel with Diploma I training courses. Therefore, the curricula and the textbooks for Diploma II and III training courses will have to be drawn up in detail in the future.
- (3). The organization of the Project was fixed as given in ANNEX III.

2. The Team answered to the explanation made by the Indonesian side as follows; and the Indonesian side consented to them.

- (1). The Master Plan for Diploma I as given in ANNEX I is acknowledged to be applicable and the Japanese technical cooperation is to be continued in accordance with The Master Plan for Diploma I as mentioned above.
- (2). The further technical cooperation for Diploma II and Diploma III will be studied by the Japanese side after receiving the formal request from the Indonesian side. For the time being, the Japanese technical cooperation for Diploma II and Diploma III is to be limited to advise Indonesian counterparts for the preparation of the training courses specially on the provision of the curricula and the textbooks.
- (3). With regard to (1) and (2) mentioned above, the Japanese technical cooperation will be continued within the scope of the Record of Discussions signed on October 21, 1983.
- (4). The organization of the Project as given in ANNEX III is to be acknowledged.

(2)

II. Progress of the Implementation of the Project.

1. Progress of Implementation of the Training Courses Indonesian side explained as follows;

- (1). 72 trainees for the first batch participated in the training and 64 of them obtained the certificates. However, since the 1st batch trainees did not complete Diploma I Program due to the shortage of the required training period. They shall continue their study of the Semester II in 1987/88.
- (2). 40 trainees for the 2nd batch are being trained duly on the basis of the curricula revised so as to conform the regulations of the Department of Education and Culture of the Republic of Indonesia.
- (3). The number of trainees for the 3rd batch is planned to be 120 persons.

2. Activities of the Japanese Experts.

Indonesian side and the Team expressed their satisfaction with the advice and the suggestion of the Japanese experts on the revision of the curricula and the implementation of the training courses.

3. Maintenance and Utilization of Equipment and Machinery

The Team was satisfied to study that all the equipment and machinery provided by JICA are well maintained and fully utilized for the training purpose.

The Team highly appreciated Indonesian endeavours which had been made since the commencement of the Project.

(3)

ANNEX I : MASTER PLAN FOR THE RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTRE PROJECT (DIPLOMA I).

1. Objectives of the Project.

The objectives of the Project are to establish the Radio and Television Training Centre (hereinafter referred to as "the Centre") in the framework of the establishment of the Multi Media Training Centre in Yogyakarta for the purpose of providing broad basic knowledge and skills for the Indonesian staff in the field of broadcasting services and thus fostering the desirable performance of duties of the personnel of the Ministry of Information in the Republic of Indonesia.

2. Objectives of the Japanese Technical Cooperation.

The objectives of the Japanese Technical Cooperation Program are to assist and advise Indonesian counterparts in conducting training courses in accordance with the chart attached to ANNEX I.

(1). The training system is to be divided into two semesters.

The training period is one year and consists of five training courses (Programme Compilation Planners, Program Lines Producers, News and Current Affairs Reporters, Studio and Master Control Technique Operators and Transmission Operators).

(2). The training targets of each course referred to in (1) above are as follows:

(i). Programme Compilation Planners.

It is the group of jobs which require the knowledge on the method and technique of arrangement and assembling the whole packages of productions in the pattern of continuity and consistency, on the basis of time, geographical condition, the value of orientation of social strata and to analyze the impact of broadcast and the legal aspects involved.

(ii). Program Lines Producers.

It is the group of jobs which require the knowledge on the method, technique and artistic work of production, according to its individual professions and qualification and understanding the whole process in the production lines.

(4)

- (iii). News and Current Affairs Reporters.
It is the group of jobs which require the knowledge on news collecting, writing, editing, re-writing, correction and reporting for news bulletin, news magazines, and other informational types of programs.
 - (iv). Studio and Master Control Technique Operators.
It is the group of jobs which require the knowledge based on standard operation procedure of studio technique and master control equipment, to understand simple structure of its technique, and may be able to repair the minor malfunction of equipment.
 - (v). Transmission Operators.
It is the group of jobs which require the knowledge on transmission based on standard operation procedures, to understand simple structure of transmitter and antenna and may be able to repair minor malfunction of equipment.
3. Capacity of the training courses in the Centre to be conducted by the Japanese Technical Cooperation will be not more than 240 trainees.

(5)

(Chart attached to Annex I)

Examination	
Programme Compilation Planners	Semester I (6 months)
Program Lines Producers	
News and Current Affairs Reporters	
Studio and Master Control Technique Operators	
Transmission Operators	
	Semester II (6 months)
Diploma I training courses	

(6)

ANNEX II : THE OVERALL PLAN FOR THE RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTRE PROJECT.

1. The overall training plan for study program on Diploma I, II and III, will be based on jobs as well as subjects "tailored to the employable skill" in the fields of broadcasting profession in Indonesia, and are planned to commence from 1989 for Diploma II and from 1990 for Diploma III.

2. The Japanese Technical Cooperation Program for the time being is to assist and advise Indonesian counterparts for the preparation for the training courses specially on the provision of the curricula and textbooks. The training courses will be conducted as follows ;

2.1. The training system is to be divided into three programs, i.e. Diploma I, Diploma II and Diploma III.

Diploma I, which will be conducted in two semesters (one year), consists of knowledge in majoring areas as shown in paragraph 2.2.1., including practicum in studio and outside, qualified as "Assistant Professional Skill".

Diploma II, which will be conducted in four semesters (two years), consists of knowledge in majoring areas as shown in paragraph 2.2.2., including practicum in studio and outside, qualified as "Associated Professional Skill".

Diploma III, which will be conducted in six semesters (three years), consists of knowledge in majoring areas as shown in paragraph 2.2.3., including practicum in studio and outside, qualified as "Senior Professional Skill".

Diploma I, II and III are integrated programs. The trainees who take the Diploma I and terminate in one year, may go back to his works or may continue his study to Diploma II by transferring certain credits; and so as from Diploma II to Diploma III.

The credit of Diploma I which might be transferable could be regarded as pre-requisite for Diploma II; and the credit from Diploma II which might be transferable could be regarded as pre-requisite for Diploma III.

(7)

2.2. The training targets and the majoring areas of study of each program referred to in (2.1) are as follows:

2.2.1. Study program for Diploma I (D.I) - One Year

Majoring Areas	Credits in Semesters
2.2.1.1. Programme Compilation Planning	(40 - 50)
2.2.1.2. Program Lines Production	(40 - 50)
2.2.1.3. News and Current Affairs Reporting	(40 - 50)
2.2.1.4. Studio and Master Control Technique Operation	(40 - 50)
2.2.1.5. Transmission Operation	(40 - 50)

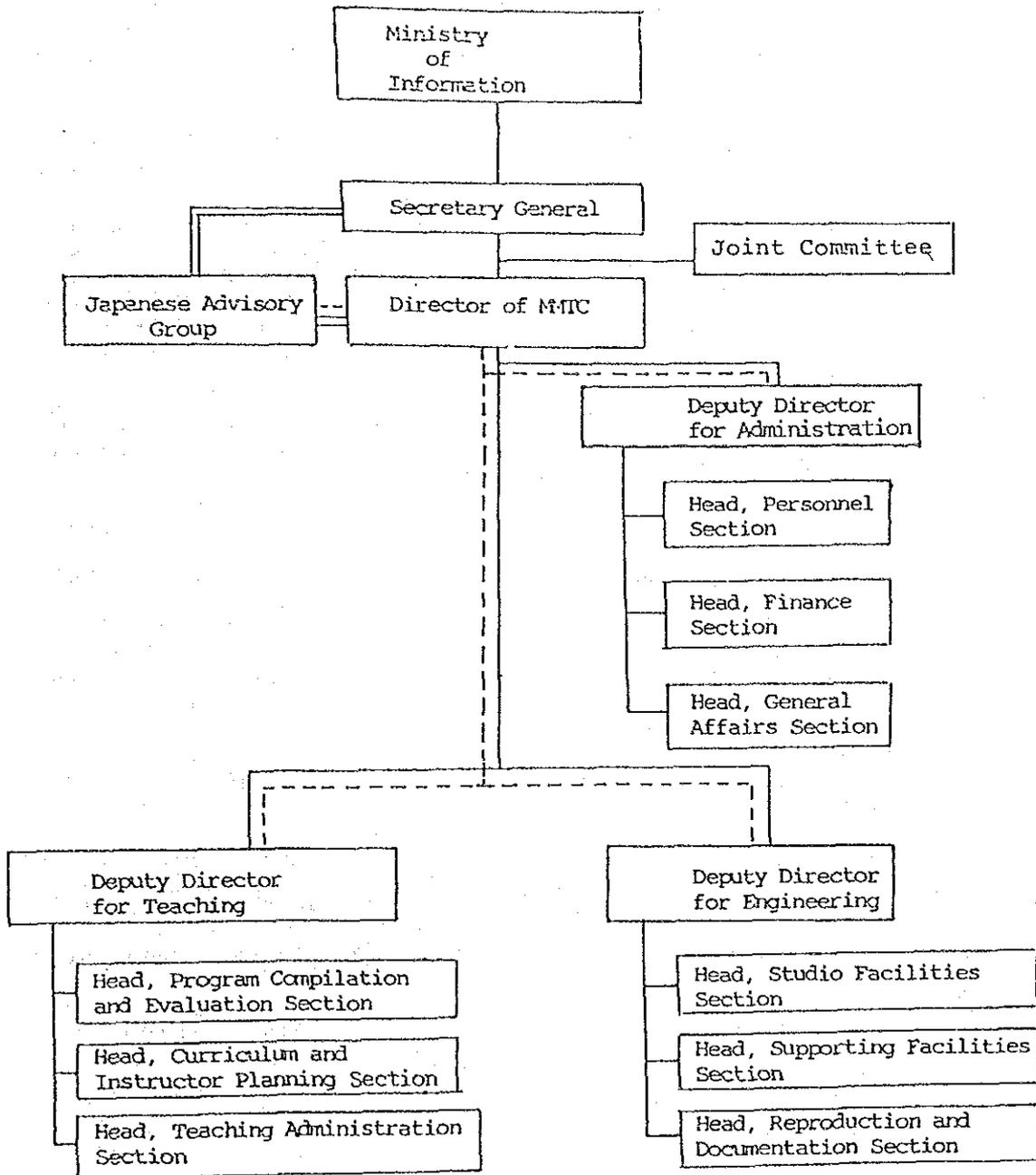
2.2.2. Study Program for Diploma II (D.II) - two years

2.2.2.1. Programme Broadcasting Planning	(80 - 90)
2.2.2.2. Program Package Production	(80 - 90)
2.2.2.3. Broadcast Journalism	(80 - 90)
2.2.2.4. Script/Story Writings	(80 - 90)
2.2.2.5. Broadcasting Performance	(80 - 90)
2.2.2.6. Studio Production Technique	(80 - 90)
2.2.2.7. Transmission Technique	(80 - 90)
2.2.2.8. Technical Repair	(80 - 90)

2.2.3. Study Program for Diploma III (D.III) -three years

2.2.3.1. Broadcasting Management	(110 - 120)
2.2.3.2. Program News and Information Productions	(110 - 120)
2.2.3.3. Program Education and Religion Productions	(110 - 120)
2.2.3.4. Program Culture and Entertainment Productions	(110 - 120)
2.2.3.5. Technical and Artistic Production Designs	(110 - 120)
2.2.3.6. Scenario and Storyboard Writings	(110 - 120)
2.2.3.7. Public Speech and Drama Casting	(110 - 120)
2.2.3.8. Apparatus Engineering	(110 - 120)
2.2.3.9. Open Studio and Mobile Production Engineering	(110 - 120)
2.2.3.10. Satellite and Terrestrial Transmission Engineering	(110 - 120)
2.2.3.11. Maintenance	(110 - 120)

(8)



Legend :

- commanding line
- ==== counterpart line
- - - - - daily counterpart line

L I S T O F T H E P A R T I C I P A N T S
O F T H E M E E T I N G S

A. Indonesian Side :

- | | |
|--------------------------|--|
| 1. Mr. Willy A. Karamoy | - Director, Multi Media Training Centre. |
| 2. Mr. Togar Lumbanraja | - Deputy Director for Administration, Multi Media Training Centre. |
| 3. Mr. Halim Nasir | - Deputy Director for Teaching, Multi Media Training Centre. |
| 4. Mr. Kosasih | - Deputy Director for Engineering, Multi Media Training Centre. |
| 5. Mr. Monny S. Manangka | - Head of Foreign Cooperation Division, Ministry of Information. |
| 6. Mr. Sunaryo | - Head, Studio Facilities Section, Multi Media Training Centre. |
| 7. Mrs. Elvie Listiorini | - Secretary to Director of Multi Media Training Centre. |
| 8. Mr. Akmam Amir | - Foreign Cooperation Division, Ministry of Information. |
| 9. Mr. T u g i m i n | - Foreign Cooperation Division, Ministry of Information. |

B. Japanese Side :

- | | |
|--------------------------|--|
| 1. Mr. Nobuji Abe | - Social Development Cooperation Department, JICA. |
| 2. Mr. Takayuki Hatazoe | - Ministry of Posts and Telecommunications. |
| 3. Mr. Shintaro Watanabe | - Japan Broadcasting Corporation (NHK). |
| 4. Mr. Yoshiro Minato | - Social Development Cooperation Department, JICA. |
| 5. Mr. Katsumi Shiraishi | - Leader Japanese Expert Team. |
| 6. Mr. Fumio Sato | - Expert for Transmission Engineering. |
| 7. Mr. Shozo Nakano | - Expert for Broadcasting Management. |
| 8. Mr. Hisamitsu Nishio | - Staff member, JICA Indonesia Office. |

(10)

5. エバリュエーションのミニッツ (1988年4月15日)

THE MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN THE JAPANESE EVALUATION TEAM
AND THE MINISTRY OF INFORMATION OF THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTRE PROJECT

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Kobo Inamura (Project Director, International Cooperation Division, Communications Policy Bureau, Ministry of Posts and Telecommunications), visited the Republic of Indonesia from April 5 to April 16, 1988 for the purpose of evaluating the achievements of the technical cooperation for the Radio and Television Training Centre Project (hereinafter referred to as "the Project"), as well as discussing the pending matters on the implementation of the Project with the authorities concerned of the Government of the Republic of Indonesia.

The Indonesian party headed by Mr. Emir H. Mangaweang, Secretary-General of the Ministry of Information, reported the progress and the future of the Project to the Team, and expressed their gratitude to the Government of Japan for the effective and successful implementation of the Project.

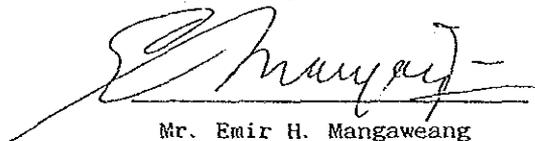
The Team gave a brief statement about the result of a series of evaluation works, and highly appreciated the great efforts made by the Indonesian side for the implementation of the Project.

As a result of the discussion, both parties made the following "Attached Document".



Mr. Kobo Inamura
Leader,
Evaluation Team,
Japan International
Cooperation Agency,
JAPAN

Jakarta, April 15, 1988



Mr. Emir H. Mangaweang
Secretary-General,
Ministry of Information,
THE REPUBLIC OF INDONESIA

THE ATTACHED DOCUMENT

1. Implementation of Diploma I (D I) Program

- (1) The following four training courses out of five courses based on the modified Master Plan in the Minutes of Meetings signed on September 19, 1986, have been conducted till now.

- ① Program Lines Producers
- ② News and Current Affairs Reporters
- ③ Studio and Master Control Technique Operators
- ④ Transmission Operators

Although "Program Compilation Planners" course has not been conducted due to the limitation of the development budget, some of its contents have been instructed in other courses.

- (2) The technical transfer to the Indonesian counterpart personnel in the fields of Program Compilation, Program Production, News Reporting, Production Engineering, Post Production & Master Control Engineering and Transmission Engineering, has made a good progress and the major part of the expected objectives of the technical cooperation to the above-mentioned fields will be achieved at the end of the technical cooperation period on the basis of the Record of Discussions (R/D) signed on October 21, 1983.

However some follow-up cooperation will be necessary to be taken even after the said technical cooperation period.

2. Preparation for Diploma II (D II) and Diploma III (D III) Programs

The preparation for D II and DIII programs such as the provision of the curricula and the text books is in its process. Follow-up cooperation for D II and DIII programs preparation will be necessary to be continued even after the above-mentioned technical cooperation period.

KD

E

3. Others

Some other items relating to the implementation of the Project were discussed and can be summarized as follows.

(1) Indonesian side strongly requested the following matters:

- ① to extend the term of the technical cooperation for at least two(2) years,
- ② in relation to ①, to take consideration on the matters of requirements of Japanese experts, in case of changing in the existing numbers,

and Japanese side responded to convey this matter to the authorities concerned in Japan for further consideration.

(2) Japanese side strongly requested the following matters:

- ① to secure the budget necessary for the implementation of the Project, at least the budget for the training courses in five fields based on modified Master Plan,
- ② to continue to allocate counterpart personnel appropriate both in capability and number to the implementation of the Project,
- ③ to hold the Joint Committee at least once a year for effective and successful implementation of the Project,

and Indonesian side agreed to make their best efforts.

KJ

E

6. 協力期間延長のミニッツ (1988年8月8日)

THE MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE RESIDENT REPRESENTATIVE OF JICA IN THE REPUBLIC OF INDONESIA
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT
OF THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTRE PROJECT

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Kobo Inamura visited the Republic of Indonesia from April 5 to April 16, 1988 for the purpose of evaluating the achievements of the technical cooperation for the Radio and Television Training Centre Project (hereinafter referred to as "the Project"), as well as discussing the pending matters on the implementation of the Project with the authorities concerned of the Government of the Republic of Indonesia.

Based on the Minutes of Meetings signed between the Leader of the Team and Secretary-General, Ministry of Information on April 15, 1988, the Resident Representative of JICA in the Republic of Indonesia and the authorities concerned of the Government of the Republic of Indonesia agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Jakarta, August 8, 1988


Mr. Yasuo Kitano
Resident Representative of
Japan International
Cooperation Agency (JICA)
in the Republic of Indonesia,
JAPAN


Mr. Emir H. Mangawang
Secretary-General,
Ministry of Information,
THE REPUBLIC OF INDONESIA

THE ATTACHED DOCUMENT

I. EXTENSION OF TECHNICAL COOPERATION AND ITS OBJECTIVES

1. Term of Extension

The term of the technical cooperation shall be extended for two (2) years until October 20, 1990 .

2. Objectives of Extension

- (1) To assist and advise further Indonesian counterparts on the preparation for DII and DIH courses such as the provision of the curricula and the text books.
- (2) To accomplish technical assistance in the remaining fields of Diploma I course.

II. COOPERATION DURING THE EXTENDED TERM

1. Dispatch of Japanese Experts

(1) Long-term Experts

- ① Chief Advisor
- ② Coordinator
- ③ Experts in the fields of :
 - a. Program Compilation ;
 - b. Program Production ;
 - c. News Reporting ;
 - d. Production Engineering, Post Production and Master Control Engineering ;
 - e. Transmission Engineering.

Notes : ① Chief Advisor will be appointed from among the long-term experts in concurrent capacity.

② Expert in the field of Program Compilation will be concurrently an expert in the field of Program Production or News Reporting.

G. G.

E.

(2) Short-term Experts

Short-term experts shall be dispatched as necessity arises for smooth implementation of the Project.

2. Training of Indonesian Personnel in Japan

A certain number of counterpart personnel per year will be sent to Japan for technical training in the specified fields of the Project.

3. Provision of Equipment

Mainly spareparts and consumptive materials will be provided suitably.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE INDONESIAN SIDE

1. To secure the required amount of budget for smooth implementation of the Project.

2. To assign the required number of qualified counterpart personnel for smooth implementation of the Project.

IV. TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

Tentative Schedule of Implementation (TSI) for the extended term is shown in ANNEX.

G. L.

E.

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION
FOR
THE EXTENDED TERM

ITEM	CALENDAR YEAR		1988		1989		1990	
			10/21				10/20	
1. Extended Term of Cooperation								
2. Dispatch of Japanese Experts								
1) Long-term Experts								
a. Chief Advisor								
b. Coordinator								
c. Other experts								
2) Short-term Experts								
3. Provision of Equipment								
4. Counterparts Training in Japan								
5. Service of Indonesian Staff								
1) Head(Director)								
2) Instructors of training courses								
3) Staff for maintenance of equipment								
4) Administrative personnel and others								
6. Contents of Cooperation								
1) Operation of DI courses								
2) Preparation for DII and DIII courses								

Note : This schedule is formulated tentatively on the assumption that necessary budget will be acquired.

J.C.

E.

7. The Structure of Curriculum Programme(Diploma I)

番組編成コース

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMME

PROGRAMME : DIPLOMA I
STUDY PROGRAM : PROGRAMME COMPILATION PLANNING

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				I	II	
I	N K D U	GENERAL SUBJECTS				
	00 ASN 12	1. Religion	2	2	-	1. Islam, Catholic, Protestant, Hindu, Buddha
	00 PUG 12	2. STATE IDEOLOGY	2	2	-	2. State Ideology, 1945, State Basic Law BERN.
	00 PXR 12	3. Introduction Methodology Research	2	2	-	3. Scientific Writing Guidance.
	00 BIN 12	4. Indonesian Language	2	2	-	4. Indonesian Literature and Language.
	00 PMA 12	5. English I	2	2	-	5. General / Basic.
	00 PNB 12	6. English II	2	-	2	6. Profession English
II.	N K D K	BASIC KNOWLEDGE/SKILL	12	10	2	
	11 PMS 13	7. Introduction to Program Management.	3	-	3	7. Programme Compilation & Management
	11 PFC 12	8. Programme Formatology	2	2	-	8. News, Education, Culture & Entertainment Programmes.
	11 PFA 12	9. Introduction to Program Production.	2	2	-	9. Introduction to Radio-TV Programme Aesthetics & Ethics Production.
	11 AED 12	10. Cultural Appreciation	2	-	2	10. National Cultural appreciation and Social Psychology.
	11 KCM 12	11. Communication Science	2	-	2	11. Inter & Intra Personal Communication, Mass Communication, Journalistics, Public Relations, Rhetorics, Public Study.
			11	4	7	
III	N K L	S K I L L				
	11 RAP 12	12. Audience Research	2	-	2	12. Problem Formulation hypothesis formulation Data Gathering and Processing
	11 RPS 13	13. The Role of Broadcasting Rights	3	3	-	13. Copy Right, Patent, Programme, Procedure
	11 RTU 12	14. Administration	2	2	-	14. Personnel Management, Budgetary, Logistics, Programme Support.
	11 PMA 13	15. Script Writing I	3	-	3	15. R-TV Script Writing
	11 PTS 13	16. Introduction to Programme Compilation.	3	3	-	16. The arrangement of Program Pattern in related to utilize the resources.
	11 PFP 12	17. Practicum I	2	2	-	17.
	11 PFP 16	18. Practicum II	4	-	6	18.
			21	10	11	
			44	24	19	
	00 O R 00	19. Sport and Health	E.K			19. Studia Generale
	00 S O 00	20. The Structure Organization and Work procedure of the Ministry of Information	H.K			20. Studia Generale

番組制作コース

THE STRUCTURE OF CURRICULA PROGRAM

DIPLOMA : 1

STUDY PROGRAM : PROGRAM LINES PRODUCTION

NO.	CODE	LECTURES	CREDIT SEMESTER'S POINT	SEMESTER		REMARKS
				I	II	
I.	GENERAL	GENERAL STUDY				
1.	00 ASH 12	RELIGION	2	2	-	
2.	00 PUG 12	INDONESIAN STATE IDEOLOGY OF "PANCASILA"	2	2	-	2. Pancasila, 1945 Indonesian Constitution, Guide Lines of State Policy.
3.	00 PAR 12	INTRODUCTION TO RESEARCH METHODOLOGY	2	-	2	3. Guidance for Script Writing.
4.	00 BIN 12	INDONESIAN LANGUAGE	2	2	-	4. Language and Indonesian Literatures.
5.	00 BNA 12	ENGLISH I	2	2	-	5. Basic/General.
6.	00 BNB 12	ENGLISH II	2	-	2	6. English for Profession.
			12	0	4	
II.	SKILL BASIC	LECTURES FOR SKILL BASIC				
7.	12 KOM 12	COMMUNICATION SCIENCE	2	-	2	7. Mass Communication, The Principle of Journalism, Public Relations, Public Speech, Audience Research.
8.	12 PKG 12	INTRODUCTION TO PRODUCTION MANAGEMENT	2	2	-	
9.	12 PPA 14	INTRODUCTION TO PROGRAM PRODUCTION	4	4	-	9. - Production of Radio and Television Program - Editing
			8	0	2	
			20	14	5	

SR	CODE	LECTURES	CREDIT SEMESTER'S POINT	SEMESTER		REMARKS
				I	II	
				20	14	6
10.	12 MPS 12	BROADCAST PROGRAMME AND MANAGEMENT	2	-	2	
				22	14	8
III.	PROFESSION	LECTURE FOR PROFESSION				
11.	12 PNA 12	SCRIPT WRITING	2	2	-	11. Script Writing and Radio/Television Dramaturgy.
12.	12 MPS 12	PRODUCTION MANAGEMENT	2	-	2	12. Production Management, Budgeting Planning.
13.	12 PAC 14	PACKAGE PRODUCTION	4	-	4	13. Including Colour Psychology.
14.	12 AEP 16	ESTHETICAL AND ARTISTICAL SIDE OF PACKAGE OF PRODUCTION	6	6	-	14. Including : - The Basic of Choreography. - Artistic Design. - The Theory of Music. - Lighting Artistic. - Colorimetry. - Sound Artistic.
15.	12 PRP 12	PRACTICE SEMESTER I	2	2	-	15. Including : Practice for Program Arrangement.
16.	12 PRP 16	PRACTICE SEMESTER II	6	-	6	
				22	10	12
				44	24	20
IV.	OTHERS	NON CREDIT KNOWLEDGE				
17.	00 OR 00	SPORT AND ENVIRONMENTAL KNOWLEDGE	NO CREDIT			Studia Generale.

NR	CODE	LECTURES	CREDIT SEMESTER'S POINT	SEMESTER	REMARKS
18.	00 50 00	ORGANIZATION STRUCTURE AND WORK SYSTEM OF MINISTRY OF INFORMATION OF THE REPU- BLIC OF INDONESIA	NO CREDIT		Stadlus Generale
19.	00 ... 00	OTHERS	NO CREDIT		

報道コース

THE STRUCTURE OF CURRICULA PROGRAM

DIPLOMA : 1

STUDY PROGRAM : NEWS AND CURRENT AFFAIRS REPORTING

NR	CODE	LECTURES	CREDIT		REMARKS
			SEMESTER'S POINT	SEMESTER	
1.	GENERAL	GENERAL STUDY			
1.	00 ASK 12	RELIGION	2	2	
2.	00 PUS 12	INDONESIAN STATE IDEOLOGY OF "PANCASILA"	2	2	2. Pancasila, 1945 Indonesian Constitution, Guide Lines of State Policy.
3.	00 PIR 12	INTRODUCTION TO RESEARCH METHODOLOGY	2	2	3. Guidance for Script Writing.
4.	00 BIN 12	INDONESIAN LANGUAGE	2	2	4. Language and Indonesian Literatures.
5.	00 BNA 12	ENGLISH I	2	2	5. Basic/General.
6.	00 BNB 12	ENGLISH II	2	2	6. English for Profession.
			12	8	
11.	SKILL BASIC	LECTURES FOR SKILL BASIC			
7.	13 FDB 12	NEWS FORMATOLOGY	2	2	7. - News Source Analysis - News Selection - News Format - News Bulletin - News Magazines - Informational News.
8.	13 PMP 12	INTRODUCTION TO NEWS MANAGEMENT	2	2	
9.	13 APP 14	INTRODUCTION TO NEWS PRODUCTION	4	4	
			8	6	

制作・運行技術コース

THE STRUCTURE OF CURRICULA PROGRAM

DIPLOMA : J

STUDY PROGRAM : STUDIO AND MASTER CONTROL TECHNIQUE OPERATION

NR	CODE	LECTURES	CREDIT SEMESTER'S POINT	SEMESTER		REMARKS
				I	II	
I.	GENERAL	GENERAL STUDY				
1.	00 A5A 12	RELIGION	2	2	-	
2.	00 PUG 12	INDONESIAN STATE IDEOLOGY OF "PANCASILA"	2	2	-	2. Pancasila, 1945 Indonesian Constitution, Guide Lines of State Policy.
3.	00 PKR 12	INTRODUCTION TO RESEARCH METHODOLOGY	2	-	2	3. Guidance for Script Writing.
4.	00 PIN 12	INDONESIAN LANGUAGE	2	2	-	4. Language and Indonesian Literatures.
5.	00 BMA 12	ENGLISH I	2	2	-	5. Basic/General.
6.	00 BXB 12	ENGLISH II	2	-	2	6. English for Profession.
				12	8	4
II.	SKILL BASIC	LECTURES FOR SKILL BASIC				
7.	14 MAT 12	MATHEMATICS	2	2	-	
8.	14 ELK 13	ELECTRO TECHNIQUE	3	-	3	8. Electric Technique, Electronic Technique, Digital Technique.
9.	14 AVA 12	AUDIO AND VIDEO TECHNIQUE I	2	2	-	
10.	14 AVB 12	AUDIO AND VIDEO TECHNIQUE II	2	-	2	
				9	4	5
				21	12	9

NR	CODE	LECTURES	CREDIT		SEMESTER		REMARK
			SEMESTER'S POINT		I	II	
					21	12	9
III.	PROFESSION	LECTURE FOR PROFESSION					
11.	14 PAU 12	MEASURING AND MEASUREMENT EQUIPMENT	2	-	2	-	11. Theory and Practice.
12.	14 TPA 12	STUDIO EQUIPMENT TECHNIQUE I	2	2	-	-	
13.	14 TPB 12	STUDIO EQUIPMENT TECHNIQUE II	2	-	2	-	
14.	14 ATP 13	TECHNICAL ASPECT FOR PROGRAM PRODUCTION	3	3	-	-	14. Program Production for Radio-TV, Sound System, and Theory of Music.
15.	14 TEC 12	LIGHTING SYSTEM AND COLORIMETRY	2	2	-	-	
16.	14 JAP 14	RECORDING EQUIPMENT TECHNIQUE FOR AUDIO AND VIDEO	4	-	4	-	
17.	14 PRP 12	PRACTICE SEMESTER I	2	2	-	-	
18.	14 PRP 16	PRACTICE SEMESTER II	6	-	6	-	
					23	9	14
					44	21	23
IV.	OTHERS	NOX CREDIT					
19.	00 0A 00	SPORT ENVIRONMENTAL KNOWLEDGE	NO CREDIT	-	-	-	Stadium Generale.
20.	00 5D 00	ORGANIZATION STRUCTURE AND WORK SYSTEM OF MINISTRY OF INFORMATION OF THE REPUBLIC OF INDONESIA	NO CREDIT	-	-	-	Stadium Generale.
21.	00 ... 00	OTHERS	NO CREDIT				

送信技術コース

THE STRUCTURE OF CURRICULA PROGRAM

DIPLOMA : I

STUDY PROGRAM : TRANSMISSION OPERATIONS

NR	CODE	LECTURES	CREDIT SEMESTER'S POINT	SEMESTER		REMARKS
				I	II	
I.	GENERAL	GENERAL STUDY				
1.	00 ASH 12	RELIGION	2	2	-	
2.	00 PUG 12	INDONESIAN STATE IDEOLOGY OF "PANCASILA"	2	2	-	2. Pancasila, 1945 Indonesian Constitution, Guide Lines of State Policy.
3.	00 PKR 12	INTRODUCTION TO RESEARCH METHODOLOGY	2	-	2	3. Guidance for Script Writing.
4.	00 BIR 12	INDONESIAN LANGUAGE	2	2	-	4. Language and Indonesian Literatures.
5.	00 BNA 12	ENGLISH I	2	2	-	5. Basic/General.
6.	00 BNB 12	ENGLISH II	2	-	2	6. English for Profession.
				12	8	4
II.	SKILL BASIC	LECTURES FOR SKILL BASIC				
7.	15 MAT 12	MATHEMATICS	2	2	-	
8.	15 ELK 14	ELECTROTECHNICS	4	4	-	8. ELECTRIC TECHNIQUE, TECHNIQUE ELECTRONIC, DIGITAL TECHNIQUE
9.	15 AVA 12	AUDIO AND VIDEO TECHNIQUE I	2	2	-	
10.	15 AVB 12	AUDIO AND VIDEO TECHNIQUE II	2	-	2	
				10	8	2
				22	16	6

NR	CODE	LECTURES	CREDIT		REMARKS
			SEMESTER'S POINT	SEMESTER I II	
			22	16	
11.	PROFESSION	LECTURE FOR PROFESSION			
11.	15 TRF 12	RADIO FREQUENCY TECHNIQUE	2	2	
12.	15 APB 12	ANTENNA AND RADIO WAVE PROPOGATION	2	2	
13.	15 TTI 12	TRANSMISSION TECHNIQUE	2	2	13. Radio and Television Transmission Technique.
14.	15 PAU 14	MEASUREMENT AND MEASURING INSTRUMENT	4	4	
15.	15 TPR 14	TRANSMITTER TECHNIQUE	4	4	
16.	15 PRT 12	PRACTICE SEMESTER I	2	2	16. Practice in Electronique and Measurement.
17.	15 PRT 16	PRACTICE SEMESTER II	6	6	
			22	16	
			44	24	20
IV.	OTHERS	NON CREDIT KNOWLEDGE			
18.	00 DR 00	SPORT AND ENVIRONMENTAL KNOWLEDGE	NO CREDIT		Stadus Generale.
19.	00 SO 00	ORGANIZATION STRUCTURE AND WORK SYSTEM OF MINISTRY OF INFORMATION OF THE REPUBLIC OF INDONESIA	NO CREDIT		Stadus Generale.
20.	00 ... 00	OTHERS	NO CREDIT		

8. The Structure of Curriculum Programme (Diploma II)

THE STRUCTURE of CURRICULUM PROGRAMME

PROGRAMME : DIPLOMA II
STUDY PROGRAM : PROGRAMMES BROADCASTING PLANNING

NO	CODE	SUBJECT	S K S	SEMESTER		NOTE
				III	IV	
I	K K O U	GENERAL SUBJECTS				
		1. Citizenship	2	2	-	
		2. Indonesian Language II	2	2	-	
		3. English III	2	2	-	
		4. English IV	2	-	2	
		5. Audience Research II	2	2	-	
			10	8	2	
II.	K K D K	BASIC KNOWLEDGE/SKILL				
		6. Programme and Broadcast Management II	2	-	2	
		7. Communication Psychology	2	2	-	
		8. Cultural Anthropology I	2	-	2	
		9. Role of Public Relations and Advertising	2	2	-	
		10. Communication Planning and Strategy	2	-	2	
III	K K K	S K I L L				
		11. Program Evaluation & Production I	2	-	2	
		12. Technique of Production Material Arrangement.	2	2	-	
		13. Planning of Human Resource I	2	-	2	
		14. Effective Staff Writing I	2	-	2	
		15. Budgeting Planning I	2	-	2	
		16. Practicum III	6	6	-	
		17. Practicum IV	4	-	4	
			20	8	12	
			40	20	20	

D. II.1

CURRICULUM PLANNING

PROGRAM DIPLOMA : II
 STUDY PROGRAM : PROGRAM PACKAGES PRODUCTION

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				III	IV	
I	M K D U	GENERAL SUBJECT				
1	00 XNR 22	Citizenship	2	-	2	1. Nationalism
2	00 NRT 22	Research Method II	2	2	-	2. Data Processing & Analysis, Research Report
3	00 BJR 22	Indonesian Language I	2	2	-	
4	00 BHC 22	English III	2	2	-	3. Grammar & literature, Writing
5	00 BHD 22	English IV	2	-	2	4. Graoner, Conversation
			10	5	4	5. Profession, Conversation Discussion
II	M K D K	BASIC SKILL				
6	12 KMS 22	Communication Science II	2	-	2	6. Media & Non Media Communication
7	12 FAS 22	Program Foreatology II	2	-	2	
8	12 RTP 22	Animation I	2	-	2	7. Program Foreatology
9	12 MJP 22	Production Management III	2	2	-	8. The Principle of Animation
			8	2	6	9. R-TV Program Production Management
III	M K K	S K I L L				
10	12 EAC 23	Aesthetical & Artistical of Program Production III	3	-	3	10. Artistic, Sound & Lighting Technique
11	12 DRI 22	Dramaturgy	2	2	-	11. Dramaturgy
12	12 ANH 22	Directing II	2	-	2	12. Program Directing
13	12 PAC 22	The Afls of Hearing and Seeing I	2	2	-	13. Lines composition, sound non-tage, and depth disension.
14	12 PAD 23	Program Production III	3	-	3	
15	12 PRC 26	Practicue III	6	6	-	14. Radio and TV Program Production.
16	12 PRD 24	Practicue IV	4	-	4	
			22	10	12	
			40	18	22	

D.II.2

PROGRAMME : DIPLOMA II
 STUDY PROGRAM : BROADCAST JOURNALISM

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMME

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				III	IV	
	H K D U	GENERAL SUBJECTS				
1.		1. Citizenship	2	-	2	
		2. Research Method II	2	2	-	
		3. English III	2	2	-	
		4. English IV	2	-	3	
		5. Indonesian Language II	2	2	-	
			10	6	4	
II.	H K D K	BASIC KNOWLEDGE/SKILL				
		6. News Program Management II	2	2	-	
		7. Development Communication	2	-	2	
		8. Cultural Anthropology	2	-	2	
		9. Communication Psychology	2	-	2	
			8	2	6	
	H K K	SKILL				
		10. R-TV Journalistics II	3	3	-	
		11. Technique of Development Presentation and Reportage.	3	-	3	
		12. News Bulletin and Current Affairs II.	2	-	2	12. Daily News, News Magazines and Informational News.
		13. News Editing II.	2	2	-	
		14. News Program Production.	2	-	2	
		15. Practicum III	6	6	-	
		16. Practicum IV	4	-	4	
			22	11	11	
			40	19	21	

D. II.3

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMS

PROGRAMME : DIPLOMA II
 STUDY PROGRAM : SCRIPT / STORY WRITING

NO	CODE	SUBJECT	SRS	SEMESTER		NOTE
				III	IV	
I.	N K D U	GENERAL SUBJECT				
1.	00 KVR 22	Citizenship	2	-	2	1. Nationalise
2.	00 MAT 22	Research Method II	2	2	-	2. Data Processing & Analysis, Research Report
3.	00 91B 22	Indonesian Language II	2	2	-	3. Grammar & Literature, Writing
4.	00 BNC 22	English III	2	2	-	4. Structure/Grammar, Conversation
5.	00 BND 22	English IV	2	-	2	5. Profession, Conversation/Discussion
			10	6	4	
II.	N K D K	BASIC SKILL				
6.	14 KDS 22	Social Communication	2	-	2	6. Social Communication
7.	14 PRS 22	The Technique of Broadcast Programs Collection	2	-	2	7. Getting idea, Hunting idea, Processing idea, Development idea, and outline and framework of idea.
8.	14 FAS 22	Programme Forecastology II	2	2	-	8. R-TV Programme Forecastology.
9.	14 NFS 22	Programme Broadcast Management II	2	-	2	9. R-TV Programme Forecastology.
			6	2	6	10. Art, Light & Sound Technique, Editing, Music Illustration, the arts of Hearing & Seeing.
III.	N K K	SKILL				
10.	14 EAS 23	Aesthetical and Artistical of Programs Production II	3	-	3	11. Literature
11.	14 KST 22	Literature	2	-	2	12. R-TV Script Writing on Documentary and feature.
12.	14 FNR 22	Script Writing II	2	2	-	13. R-TV Story Writing
13.	14 PNC 23	Story Writing III	3	-	3	14. R-TV Program Production Documentary and feature
14.	14 PAC 22	Program Production	2	2	-	15. R-TV Script practice
15.	14 PRC 26	Practicum III	6	6	-	16. R-TV Script Writing Program Production
16.	14 PRD 24	Practicum IV	4	-	4	
			22	10	12	
			40	18	22	

P.11.6

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMME

PROGRAMME : DIPLOMA II
 STUDY PROGRAM : BROADCASTING PERFORMANCE

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				III	IV	
I.	N K D U	GENERAL SUBJECT				
		1. Citizenship	2	-	2	
		2. Indonesian Language	2	2	-	
		3. English V	2	2	-	
		4. English VI	2	-	2	
			8	4	4	
III.	N K D K	BASIC SKILL				
		5. Social Communication	2	-	2	5. Including Social Psychology
		6. Program Formatology II	2	-	2	
		7. Program Broadcast Management II	2	-	2	
		8. Aesthetics and Artistics Programme Production II	3	3	-	
			9	3	6	
III	N K K	SKILL				
		9. Effective Speaking I	2	2	-	
		10. The Right Use of Words	2	-	2	
		11. Public Speech	2	-	2	
		12. Acting I	3	3	-	
		13. Traditional and Classical Theater	2	2	-	
		14. Rhetoric I	2	-	2	
		15. Practicum III	6	6	-	
		16. Practicum IV	4	-	4	
			23	13	10	
			40	20	20	

D.11.5

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PLANNING

PROGRAM DIPLOMA : II
 STUDY PROGRAM : STUDIO PRODUCTION TECHNIQUE

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				III	IV	
I	M K D U	GENERAL SUBJECTS				
1	00 KMR 22	Citizenship	2	-	2	1. Nationalism
2	00 MNT 22	Maintenance Management I	2	2	-	2. Data Analysis & Processing, & Research Report
3	00 BNC 22	English III	2	2	-	3. Grammar & Conversation
4	00 BND 22	English IV	2	-	2	4. Profession & Conversation
11	M K B K	BASIC SKILL	8	4	4	
5	16 ELK 23	Electronics II	3	3	-	5. Digital Technique, Electric
6	16 NGI 22	Management Techniques	2	-	2	Technique, Electronics
7	16 ICS 22	Lighting and Sound Technique	2	2	-	6. Administration, Circulation,
8	16 ITR 22	Power Supply, Safety Engineering and Fire Prevention I	2	-	2	Network Planning, Maintenance and Facilities
9	16 DIF 22	Camera Focusing Technique	2	-	2	7. The art of arranging light & Sound.
			11	5	6	8. Safety design, heat, current and Fire Protection.
III	M K K	S K I L L				9. Basic Technique of TV Film
10	16 TEA 22	Audio Technique	2	2	-	10. Audio System
11	16 TEV 22	Video Technique	2	2	-	11. Video System
12	16 PAB 22	Measurement Technique II	2	2	-	12. Measurement & Audio-Video Measurement Equipment
13	16 TFP 22	The Technique of Editing and Synchronizing I	2	2	-	13. Picture & Sound I
14	16 TFP 22	The Technique of Editing and Synchronizing II	2	-	2	14. Picture & Sound II
15	16 TPO 23	The Technique of Equipment Operation	3	-	3	15. R-TV OB & Studio Equipments
16	16 PRA 25	Practicum III	6	6	-	16. R-TV Program Production Practice
17	16 PRA 24	Practicum IV	4	-	4	17. R-TV Program Production Practice
			23	14	9	
			42	23	19	
13	00 O R 00	SPORTS & HEALTH	2K			

D.11.4

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMME

PROGRAMME : DIPLOMA II
 STUDY PROGRAM : TRANSMISSION TECHNIQUE

NO	CODE	SUBJECT	S K S	SEMESTER		NOTE
				III	IV	
I	M K D U	GENERAL SUBJECTS				
		1. Citizenship	2	-	2	
		2. Maintenance Management I	2	2	-	
		3. English III	2	2	-	
		4. English IV	2	-	2	
II.	M K D K	BASIC KNOWLEDGE/SKILL	8	4	4	
		5. Mathematics II	2	2	-	
		6. Electronics III	2	2	-	
		7. Digital Switching Concepts	2	-	2	
		8. Power Supply, Safety Engineering and Fire Prevention I	2	-	2	
		9. Pulse Technique	2	2	-	
III	M K K	SKILL	10	6	4	
		10. Fundamentals of Simulcast Paging Systems	2	2	-	
		11. Antenna and Radio Wave Propagation II	2	-	2	
		12. Transmission Technique II	2	-	2	
		13. Measurement and Equipment III	2	2	-	
		14. Measurement and Equipment IV	2	-	2	
		15. Transmitter Technique II	2	-	2	
		16. Practicum III	6	6	-	
		17. Practicum IV	4	-	4	
			22	10	20	
			30	20	20	

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMME

PROGRAMME : DIPLOMA II
STUDY PROGRAM : TECHNICAL REPAIR

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				III	IV	
I	K X D U	GENERAL SUBJECTS				
		1. Citizenship	2	-	2	
		2. Maintenance Management I	2	2	-	
		3. English III	2	2	-	
		4. English IV	2	-	2	
			8	4	4	
II	K X D K	BASIC KNOWLEDGE/SKILL				
		5. Electronics III	2	2	-	
		6. Technique of Acoustics	2	-	2	
		7. Mathematics II	2	-	2	
		8. Power Supply, Safety Engineering and Fire Prevention I	2	-	2	
		9. Transmission Technique	2	-	2	
			10	2	8	
III	K X K	SKILL				
		10. Audio-Video Technique III	2	2	-	
		11. Measurement and Equipment II	2	2	3	
		12. Measurement and Equipment III	2	-	2	
		13. Technique of Operational Equipment	2	-	2	
		14. Error Search I	2	2	-	
		15. Pulse Technique	2	-	2	
		16. Practicum III	4	4	-	
		17. Practicum IV	4	-	4	
			22	12	10	
			40	18	22	

9. The Structure of Curriculum Programme (Diploma III)

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PLANNING

PROGRAM DIPLOMA : III
 STUDY PROGRAM : BROADCASTING MANAGEMENT

NO	CODE	SUBJECT	S K S	SEMESTER		NOTE
				V	VI	
1	M K D U	GENERAL SUBJECT				
1		English V	2	2	-	
2		English VI	2	-	2	
			4	4	4	
11	M K D K	BASIC SKILL				
3		Programme and Broadcast Management II	2	2	-	
4		Development Communication	2	-	2	
5		Cultural Anthropology II	2	2	-	
6		Strategies for Media Selection and Message Execution	2	2	-	
7		Organization and Management	2	2	-	
			10	8	2	
111	M K K	SKILL				
8		Program Evaluation, & Production II	3	-	3	5. Including Communication Law.
9		Planning of Human Resource II	2	-	2	
10		Effective staff Writing II	2	2	-	
11		Budgeting Planning II	3	-	3	
12		Practicum V	4	4	-	
13		Practicum VI	6	-	6	
			22	8	14	
			36	18	18	

B.III.1

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PLANNING

PROGRAM DIPLOMA : III
 STUDY PROGRAM : PROGRAM NEWS AND INFORMATION
 PRODUCTIONS

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				V	VI	
I	M X D U	GENERAL SUBJECT				
1		English V	2	2	-	
2		English VI	2	-	2	
3		Indonesian Language III	2	2	-	
			6	4	2	
II	M X G K	BASIC SKILL				
4		Communication Science III	2	2	-	
5		Political Communication	2	-	2	
6		Communication Law & Ethics	3	3	-	6. Press Law and Ethics
7		Public Opinion Analysis and Public Relation.	2	-	2	
			9	5	4	
III	M X X	SKILL				
8		R-TV Journalistics III	3	3	-	9. Reporting on screen and on spot.
9		Presentation News Technique II	2	2	-	
10		News Bulletin and Current Affairs	2	-	2	10. Daily News, News Magazines and International News,
11		Development Programme Production II	2	-	2	
12		News Editing II	2	2	-	12. Including the arts of Hearing & Seeing.
13		Practicum V	4	4	-	
14		Practicum VI	6	-	6	
			21	11	10	
			34	20	14	

B. III.2

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PLANNING

PROGRAM DIPLOMA : III
 STUDY PROGRAM : PROGRAM EDUCATION AND
 RELIGION PRODUCTIONS

NO	CODE	SUBJECT	S K S	SEMESTER		NOTE
				V	VI	
I.	N K D U	GENERAL SUBJECT				
1.		English V	2	2	-	
2.		English VI	2	-	2	
3.		Religion Comparison Science	2	2	-	
			6	4	2	
II.	N K D K	BASIC SKILL				
4.		Social Communication	2	-	2	
5.		Education Psychology	2	2	-	
6.		Radio-TV Education Program II	2	2	-	
7.		Cultural Anthropology II	2	-	2	
			8	4	4	
III.	N K K	S K I L L				
8.		Intercultural & Development Communication	2	2	-	
9.		Script Writing II	2	2	-	
10.		Music Illustrations	2	-	2	
11.		Aesthetics & Artistic Program				
		Production IV	2	-	2	
12.		Animation II	2	2	-	
13.		Directing III	2	2	-	13.-Including the arts of
14.		Practicum V	4	4	-	Hearing and Seeing.
15.		Practicum VI	6	-	6	-Program Directing.
			22	12	10	
			36	20	16	

01113

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PLANNING

PROGRAM DIPLOMA : III
 STUDY PROGRAM : PROGRAM CULTURAL AND
 ENTERTAINMENT PRODUCTIONS

NO	CODE	SUBJECT	SAS	SEMESTER		NOTE
				V	VI	
I.	M K D U	GENERAL SUBJECT				
1.		English V	2	2	-	
2.		English VI	2	-	2	
			4	2	2	
III.	M K D K	BASIC SKILL				
3.		Cross Cultural Communication	2	-	2	
4.		Program Creation	2	2	-	
5.		Stage Show Program	2	2	-	
6.		Cultural Anthropology II	2	-	2	
7.		Cultural Appreciation	2	-	2	
			19	4	6	
III.	M K K	S K I L L				
8.		Musicology, Fuppeller & Traditional	2	2	-	
9.		Performance Choreography	2	2	-	
10.		Script Writing IJ	2	2	-	
11.		Aesthetics & Artistic Program				
		Production IV	2	-	2	
12.		Animation	2	2	-	
13.		Directing III	2	-	2	13.-Including the arts of
14.		Practicum V	4	4	-	Hearing and Seeing.
15.		Practicum VI	6	-	6	-Program Directing.
			22	12	10	
			34	18	18	

D. III. 4

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PLANNING

PROGRAM DIPLOMA : III
 STUDY PROGRAM : TECHNICAL AND ARTISTIC
 PRODUCTION DESIGN

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				1	II	
1.	N K D U	BASIC SUBJECT				
1.		English V	2	2	-	
2.		English VI	2	-	2	
			4	2	2	
III.	N K B K	BASIC SKILL				
3.		Development Communication	2	2	-	
4.		Visual Design	2	2	-	
5.		Colour Anthropology	2	-	2	
6.		Culture Appreciation	2	-	2	
			8	4	4	
III.	N K K	S K I L L				
7.		Program Production IV	2	-	2	
8.		Animation	2	-	2	
9.		Special Effect	2	2	-	
10.		Directing	2	-	2	
11.		Aesthetics & Artistics V	3	3	-	
12.		Aesthetics & Artistics VI	3	-	3	
13.		Artistic Practicum V	4	4	-	
14.		Artistic Practicum VI	5	-	5	
			24	9	15	
			35	15	21	

0.111.5

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PLANNING

PROGRAM DIPLOMA : III
 STUDY PROGRAM : SCENARIO AND STORYBOARD WRITING

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				V	VI	
I.	M K P U	GENERAL SUBJECT				
1.		Indonesian Language III	2	2	-	
2.		English V	2	2	-	
3.		English VI	2	-	2	
			6	4	2	
II.	M K D K	BASIC SKILL				
4.		Literature (Drama) II	2	-	2	
5.		Cultural Anthropology	2	2	-	
6.		Drawing and Composition	2	2	-	
7.		Sineratography	2	-	2	7. Including the arts of Hearing and Seeing.
			8	4	4	
III.	M K K	SKILL				
8.		Script and Story Writing IV	3	3	-	
9.		Animation II	3	-	3	
10.		Script Analysis	2	-	2	
11.		Characterization	2	2	-	
12.		Acting	2	2	-	
13.		Practicus V	-	4	-	
14.		Practicum VI	3	-	3	
			18	11	11	
			36	20	16	

B.111.4

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMME

PROGRAMME : DIPLOMA III
 STUDY PROGRAM : PUBLIC SPEECH AND DRAMA CASTINGS

NO	CODE	SUBJECT	S K S	SEMESTER		NOTE
				V	VI	
I	M K D U	GENERAL SUBJECTS				
		1. Indonesian Language III	2	2	-	
		2. English V	2	2	-	
		3. English VI	2	-	2	
			6	4	2	
II	M K D K	BASIC KNOWLEDGE/SKILL				
		4. Effective Speaking II	2	-	2	
		5. Drama Sociology	2	2	-	
		6. Cultural Anthropology II	2	-	2	
		7. Communication Psychology	3	3	-	
			9	5	4	
III	M K K	SKILL				
		8. Rhetoric IV	3	3	-	
		9. Acting II	2	2	-	
		10. Directing III	2	-	2	
		11. Drama Criticis	2	-	2	
		12. Character Analysis	2	-	2	
		13. Practicum V	4	4	-	
		14. Practicum VI	6	-	6	
			21	7	12	
			36	18	18	
			40	20	20	

B. III.7

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PLANNING

PROGRAM DIPLOMA : III
 STUDY PROGRAM : APPARATUS ENGINEERING

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				V	VI	
I.	N K D U	GENERAL SUBJECT				
1.		English V	2	2	-	
2.		English VI	2	-	2	
3.		Maintenance Management II	2	2	-	
			6	4	2	
II.	N K D K	BASIC SKILL				
4.		Electronics III	2	2	-	
5.		Power Suply, Safety Engineering & Fire Prevention II	2	2	-	
6.		Film Technique	2	-	2	
7.		Computer Program	2	-	2	
			6	4	4	
III.	N K K	SKILL				
8.		Animation Technique	2	-	2	
9.		Digital Video Effect	2	2	-	
10.		Matching & Arrangement Technique III	2	2	-	
11.		DB & Studio Equipment Technique	2	2	-	
12.		Broadcasting Station Equipment Planning Technique	2	-	2	
13.		Acoustics II	2	-	2	
14.		Practicum V	4	4	-	
15.		Practicum VI	6	-	6	
			22	10	12	
			36	18	18	

0:111.P

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMME

PROGRAMME : DIPLOMA III
 STUDY PROGRAM : OPEN STUDIO & MOBILE PRODUCTION
 ENGINEERING

NO	CODE	SUBJECT	S K S	SEMESTER		NOTE		
				V	VI			
I	K K D U	GENERAL SUBJECTS						
		1. English V	2	2	-			
		2. English VI	2	-	2			
		3. Maintenance Management II	2	2	-			
			6	4	2			
II.	K K D K	BASIC KNOWLEDGE/SKILL						
		4. Electronics III	2	2	-			
		5. Power Supply, Safety Engineering and Fire Prevention II	2	2	-			
		6. Film Technique	2	-	2			
		7. Computer Program	2	-	2			
				9	5	4		
		III	K K K	SKILL				
				8. Animation Technique	2	-	2	
9. Special Effect	2			2	-			
10. Matching and Arrangement Technique III	2			2	-			
11. Outdoor Studio Planning	2			2	-			
12. Production Aspects	2			-	2			
13. Electronics Effect Technique	2			-	2			
14. Practicum V	4			4	-			
15. Practicum VI	6	-	6					
		22	10	12				
		36	18	18				

6. III.5

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMME

PROGRAMME : DIPLOMA III
 STUDY PROGRAM : SATELLITE AND TERRESTRIAL TRANSMISSION ENGINEERING

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE
				V	VI	
I.	K K D U	GENERAL SUBJECT				
		1. English V	2	2	-	
		2. English VI	2	-	2	
		3. Maintenance Management II	2	2	-	
			6	4	2	
II	K K D K	BASIC SKILL				
		4. Satellite Communication Management	2	2	-	
		5. Power Supply, Safety Engineering and Fire Prevention II	2	2	-	
		6. Cellular Radio Telephone Networks for Mobile, Portable & Fixed Communication	2	2	-	
			6	4	2	
III	K K K	SKILL				
		7. Electronics V	2	-	2	
		8. Digital and Optical Fiber Transmission	2	2	-	
		9. VSAT Earth Station Networks : Planning, Selection and Operation	3	-	3	
		10. Network Technical Control, Operation and Management	2	-	2	
		11. Integrated Packet Networks	2	-	2	
		12. Satellite Systems Application for Rural Areas	3	3	-	
		13. Radio & TV Antenna and Wave Propagation III	2	2	-	
		14. Practicum V	4	4	-	
		15. Practicum VI	4	-	4	
			24	12	12	
			36	21	15	

D. III. 10

PROGRAMME : DIPLOMA III
 STUDY PROGRAM : MAINTENANCE

THE STRUCTURE OF CURRICULUM PROGRAMME

NO	CODE	SUBJECT	SKS	SEMESTER		NOTE	
				V	VI		
I	MKDU	GENERAL SUBJECTS					
		1. English V	2	2	-		
		2. English VI	2	-	2		
		3. Maintenance Management II	2	2	-		
			6	4	2		
II.	MKDK	BASIC KNOWLEDGE/SKILL					
		4. Electronics III	2	2	-		
		5. Power Supply, Safety Engineering and Fire Prevention II	2	2	-		
		6. Fibre Optic	2	-	2		
		7. Microprocessor and Digital Technique	2	-	2		
			8	4	4		
III	KXK	SKILL					
		8. Measurement & Equipment III, IV	4	2	2	8.-Radio & TV Spectrum Management and Computer Aided Techniques	
		9. Broadcast Transmitter	2	-	2		
		10. Frequency Monitoring and Interferements	2	-	2	-Radio & TV Spectrum Monitoring and Measuring	
		11. Radio Broadcast Studio Design Operation and Management	2	2	-	9. Disaster Communication Management	
		12. TV Broadcast Studio Design Operation and Management	2	2	-		
		13. Practicum V	4	4	-		
		14. Practicum VI	6	-	6		
				22	10	12	
				36	18	18	

D. III.11

JICA